

平成29年度

事業報告書

(自) 平成29年 4月 1日

(至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人 北海道リハビリー

目 次

1	事業概要	1
2	事業実施状況（拠点別）	5
	2-1 法人本部	
	2-2 リハビリー・クリーナース	
	2-3 リハビリー・おおぞら	
	2-4 リハビリー・エイト	
	2-5 美しの森	
	2-6 セルプさっぽろ	
	2-7 エルフィンホーム	
	2-8 陽だまり	
	2-9 ポプルス	
3	地域に向けた社会貢献の取り組み状況	18
	3-1 地域における公益的な取り組み	
	3-2 その他の地域貢献活動	
4	理事会・評議員会等	21
5	職員研修等	26
6	行事・事業等	36
7	主な来所者（施設見学）	42
8	職場実習（受入れ）	46
9	施設設備整備実施報告	49
	9-1 実施状況総括表	
	9-2 事業所別実施状況	
10	福祉サービス第三者評価の受審結果	54
11	組織図	58
12	利用者等状況報告	59

1. 事業概要

<事業概況>

平成29年度は、長年の念願であったクリーナース工場の老朽改築と新グループホーム「かえで」が完成し、北海道リハビリーにとって喜ばしい年となった。一方で給食委託費や重油価格、減価償却費など多くの経費が増高し、収益を圧迫した。さらに印刷事業の売上も厳しさを増し、結果として、赤字決算を余儀なくされた。

クリーニング事業は、大型のビジネスホテル3件の新規受注などにより、ほぼ平成28年度並みの収入を確保することができた。一方、印刷事業は受注量及び受注単価の低下が止まらず、収入は前年比91.2%、5億円を下回る結果となった。

就労支援事業全体としては、前年比1.7%の収益減。福祉を含めた法人全体のサービス活動増減差額は、平成28年度が175,108千円の黒字だったのに対し、平成29年度は51,910千円の赤字となった。

こうした厳しい状況を踏まえ、法人経営を安定させるために、年間を通して経費の圧縮と省エネに努めた。また平成29年春に「事業検討会議」を立ち上げ、印刷事業を含むエイトのあり方について多角的に議論を重ねた。その結果、エイトの福祉部門をより充実・高度化させること等を柱としたエイト事業見直し案が12月の理事会で了承され、平成30年度から本格的に実施に移される。また、法人が今後担うべき新規事業についても、新年度に事業検討会議及びエイトにおいて議論していく。

一方、クリーニング事業の収益改善をめざして、12月に常務理事を本部長とする「クリーニング事業本部」を立ち上げ、法人内のクリーニング関連部署(クリーナース、おおぞら、ウェルプラザやまはな、クリーニング事業部)全体を統括することとした。すでに作業の効率化、人員の再配置、事業所間の協力等に着手しており、これまでの仕事のやり方を根本から見直し、生産管理等の専門知識を再教育し、資源を有効活用しながら生産性の向上と収益の拡大を図っていく。

平成29年度は、改正社会福祉法が本格施行となり、社会福祉法人に対してガバナンスや財務規律の強化がより強く求められるようになった。新たに議決機関となった評議員会の任期が4月に始まり、6月の定時評議員会において、新しい役員と会計監査人が選出された。法人にとって新しい制度である会計監査人には、監査法人ライトハウスが選任され、年間を通して法人の財務会計を監査している。

人手不足が全産業に広がっているが、当法人にとっても人材の確保が深刻な課題となっている。このため、平成29年4月に法人本部に人事課を新設し、人材確保と処遇改善に力を入れた結果、平成30年春に久しぶりに大学新卒者2名を迎えることができた。また職員の創意工夫を法人運営に反映させるために「職員提案制度」をスタートさせた。

福祉サービスの向上を図るために、平成29年度も内部及び外部の研修に多くの職員スタッフが参加した。また、「おおぞら」と「エルフィンホーム」が福祉サービス第三者評価を受審した。福祉事業においては、3名の利用者を一般就労に送り出すことができた。しかし、利用者全体の高齢化・障がいの重度化が進み、入院・加療を要する利用者が増えてきたため、平均の利用率が低下したことが懸念材料である。

<決算概況>

1. 事業活動収支

(1) 就労支援事業活動

法人全体の就労支援事業収益は、2,183,964千円(前年比△37,755千円・98.3%)と前年実績を下回る結果となった。主要因としては、印刷事業の収益が、受注物件数・ロット数等の減少により前年比△48,047千円・91.2%と落ち込んだことが大きい。

対する就労支援事業費用は、2,214,294千円(前年比+75,091千円・103.5%)と増加に転じた。主要因としては、印刷事業では売上減に比例して製造原価等が前年比△24,443千円・95.5%の減になったが、クリーニング事業では重油価格上昇による燃料費増やクリーナースの設備更新に伴う減価償却費の増などにより、クリーニング事業全体の費用が前年比+101,089千円・106.6%の増になったことによる。

これにより、法人全体の就労支援事業のサービス活動増減差額は、△30,330千円(前年比△112,846千円・△36.8%)と前年実績を大きく下回る業績となった。

(2) 福祉事業活動

法人全体の福祉事業収益(障害福祉サービス等事業収益等)は、利用率の微減等により、864,395千円(前年比△16,407千円・98.1%)とやや低調に推移した。

対する福祉事業費用は、給与改善等による人件費増、給食業務委託料金の増、クリーナース作業棟の改築に伴う減価償却費の増などにより、886,734千円(前年比+99,933千円・112.7%)と増加した。

これにより、法人全体の福祉事業のサービス活動増減差額は、△22,339千円(前年比△116,340千円・△23.8%)と前年実績を下回る業績となった。

これらの社会福祉事業に、公益事業・収益事業を合算した法人全体のサービス活動増減差額は、△51,910千円(前年比△227,018千円・△29.6%)の赤字を計上したが、予算比では+15,058千円の赤字幅縮小となった。

なお、公益事業の法人附属診療所は、平成29年6月末で事業を廃止した。

2. 資金収支

事業活動による収支については、法人全体の事業活動収入が3,061,591千円(予算比△28,195千円・99.1%)、対する事業活動支出が2,917,243千円(予算比△27,394千円・100.9%)、これにより事業活動資金収支差額は、予算199,937千円に対して実績144,348千円(予算比△55,589千円・72.2%)と予算を下回った。

施設整備等による収支の主なものとしては、収入では、グループホーム増設や各拠点の防犯対策事業に係る「施設整備等補助金収入」33,858千円、支出では、各拠点の施設設備整備による「固定資産取得支出」199,168千円、クリーナースの旧建物付属設備等に係る「固定資産除却・廃棄支出」2,071千円、同施設の機械設備移設費用に係る「その他の施設整備等による支出」97,530千円などを計上した。

これらの収支に、その他の活動による収支を合算した法人全体の当期資金収支差額は△149,221千円となり、単年度では支払資金が減少したが、当期末支払資金残高は513,508円を計上して平成29年度を終えた。

事業活動収支(法人単位・サービス活動増減の部のみ表示)

(単位:千円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比(A)/(B)
サービス活動増減の部	収益				
	就労支援事業収益(1)	2,183,964	2,221,719	△37,755	98.3%
	福祉事業収益(2)	864,395	880,802	△16,407	98.1%
	公益事業・収益事業等収益(3)	3,674	5,655	△1,981	65.0%
	サービス活動収益計(4)=(1)+(2)+(3)	3,052,033	3,108,176	△56,143	98.2%
	費用				
	就労支援事業費用(5)	2,214,294	2,139,203	75,091	103.5%
	福祉事業費用(6)	886,734	786,801	99,933	112.7%
公益事業・収益事業等費用(7)	2,914	7,064	△4,149	41.3%	
サービス活動費用計(8)=(5)+(6)+(7)	3,103,942	2,933,068	170,875	105.8%	
サービス活動増減差額(9)=(4)-(8)	△51,910	175,108	△227,018	△29.6%	
内訳	就労支援事業収支差額(10)=(1)-(5)	△30,330	82,516	△112,846	△36.8%
	福祉事業収支差額(11)=(2)-(6)	△22,339	94,001	△116,340	△23.8%

資金収支(法人単位)

(単位:千円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	予算比(B)/(A)
事業活動	事業活動収入計(1)	3,089,786	3,061,591	28,195	99.1%
	事業活動支出計(2)	2,889,849	2,917,243	△27,394	100.9%
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	199,937	144,348	55,589	72.2%
施設整備等	施設整備等収入計(4)	34,873	34,921	△48	100.1%
	施設整備等支出計(5)	376,419	362,952	13,467	96.4%
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△341,546	△328,030	△13,515	104.0%
その他活動	その他の活動収入計(7)	23,838	85,113	△61,275	357.0%
	その他の活動支出計(8)	0	50,652	△50,652	-
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	23,838	34,461	△10,623	144.6%
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		△117,771	△149,221	31,450	73.3%
前期末支払資金残高(11)		662,730	662,730	0	100.0%
当期末支払資金残高(10)+(11)		544,958	513,508	31,450	94.2%

<平成29年度における主な事業実施状況>

1. 事業運営関係

- ① 4月から改正社会福祉法の全面施行に伴い、新年度事業開始
- ② 4月から新評議員体制(9名)を発足するとともに、評議員会は諮問機関から議決機関へ変更
- ③ 6月定時評議員会において、理事(7名)及び監事(2名)並びに会計監査人(監査法人ライトハウス)を選任
- ④ 法人本部組織体制の変更(人事課の新設等)
- ⑤ 「札幌ワークセンター」の施設名称を「美しの森」へ変更
- ⑥ 「セルフさっぽろ」の利用定員を80名(B型定員64名)から100名(B型定員84名)に変更
- ⑦ 「リハビリ・クリーナース」の利用定員を40名(A型15名、B型25名)から、就労移行支援事業定員6名を新設し、60名(A型22名、B型32名)に変更
- ⑧ 6月末をもって公益事業「北海道リハビリ・附属診療所」を廃止
- ⑨ リハビリ・おおぞら及びエルフィンホームが、福祉サービス第三者評価を受審(サード・アイ合同会社)
- ⑩ 12月に、クリーニング事業を行う施設及び事業部を統括する「クリーニング事業本部」を設置

2. 施設設備整備関係(大規模整備等)

- ① リハビリ・クリーナース新作業棟(ホテルリネン作業棟)が完成・稼働
- ② リハビリ・クリーナースの第2期外構工事が完了(10月)
- ③ 新グループホーム かえで(定員8名)が完成(10月開設)
- ④ リハビリ・エイト・美しの森・セルフさっぽろ・エルフィンホームにおいて、防犯設備(防犯カメラ・人感知ライト・非常通報装置・機械警備システム)を設置

2. 事業実施状況（拠点別）

2-1 法人本部

1. 法人運営

- ① 「社会福祉法等の一部を改正する法律」の本格施行の下に、理事会、評議員会を開催し、定款変更、評議員の選任、役員及び会計監査人の選任等を行うとともに、事務局体制の強化等を図るため、法人本部の組織改編を行った。また、法人本部が主導して当面する法人・施設の運営上の課題について協議検討を行う「事業検討会議」を設置し、平成29年度は「リハビリ・エイトの今後の事業展開のあり方」について集中検討を行い、12月開催の理事会に最終検討結果を上程した。
- ② 社会福祉法人制度改革等に対応するため、定款をはじめ、各種規程等の制定・改定等を適時行った。
 - 【制定】 定款施行細則、評議員規程、評議員会運営規程、役員規程、理事会運営規程、組織規程、職務権限規程、経営会議規程、監事監査規程、資金運用規程、事業検討会議規程、役員等及び評議員報酬等支給規程、内部管理体制の基本方針、会計監査人選定基準、事業計画策定規程、職員提案制度実施要綱 など
 - 【変更】 定款、経理規程、稟議規程、運営規程、就業規則 など
 - 【廃止】 定款細則、役員等報酬支給規程
- ③ 社会福祉法の改正により、一定事業規模以上の法人に会計監査人の設置が義務付けられたことから、外部監査法人を会計監査人として選任した。経営組織のガバナンスと財務規律の強化を図るため、通年に亘って、財務会計全般に関わる内部統制の検証、会計処理や資産等の実証、現預金実査等の監査を実施した。
- ④ 人事課を新設し、平成30年度の新卒者採用に向けた活動を実施した。合同企業説明会への参加や法人内説明会の実施、WEBを活用した採用情報等の発信、札幌市内及び近郊大学の就職支援部門への訪問など、人材確保のための取り組みを多面的に行い、2名の新卒者を採用するに至った。
- ⑤ クリーニング事業全体を統括する組織として、常務理事を本部長とする「クリーニング事業本部」を12月に設置し、関係部門の横断的連携による収益拡大等に向けた事業改善に取り組んだ。
- ⑥ 経営会議(理事長・常務理事・各施設長・部門長等で構成)を月次開催し、法人施設の経営・運営に係る重要施策や業務執行に関する重要事項等について審議し、組織的な意思決定の下に様々な経営課題に対処した。
- ⑦ 法人運営の内部統制については、監事及び会計監査人の指導を得ながら、「内部管理体制の基本方針」に則り、適切に対応した。また、基本方針に規定されている「内部監査」及び「通報窓口」のあり方については、平成29年度中に体制整備を進め、平成30年度上期に実施予定である。
- ⑧ 職員の人材育成とキャリア形成を目的に、必要な職務経験や従事期間、求める能力や習熟レベル、取得資格や研修歴等を要件としたキャリアパス制度を設計し、平成30年度から段階的に導入することとした。

- ⑨ 働きやすい職場環境作りと人材確保策の一環として、年間休日数を段階的に増加するための検討を進めた。平成30年度からの実施に向けて、就業時間の変更、就業規則等の改定、業務体制の変更などの準備作業を行った。
- ⑩ 従業員の創意工夫による改善等提案を事業運営に積極的に反映させるとともに、業務改善意識の高揚や福祉サービスの向上等に資することを目的に「職員提案制度」をスタートさせた。
- ⑪ 「コミュニケーション活性化委員会」を立ち上げ、職場におけるコミュニケーションの活性化を図るための方法等について部門横断的な議論を重ねた。平成30年度において、外部講師を招いたロールプレイ研修会等を実施し、職場におけるタテとヨコ及び利用者とのコミュニケーションの活性化をねらう。
- ⑫ 就労支援事業活動における生産性向上と業務の効率化に向けて、各事業所の現場責任者クラスに「生産管理認定講座」の受講の機会を提供し、生産管理のプランニングやオペレーションに係る専門知識の習得と実務能力を高める取り組みを始めた。
- ⑬ 地域のニーズを踏まえた公益的な取り組みを実践した。
- ※P18「3. 地域に向けた社会貢献の取り組み状況」参照
- ⑭ 地域とのふれあい交流の場とした「第44回ボランティアカーニバル」を開催した。
＜開催日：平成29年8月27日(日)、来場者：約1,000名、ボランティア要員：205名＞
- ⑮ 省エネ推進委員会が中心となり、LED照明の導入や電力デマンド監視システムの活用、省エネ機器への更新検討などの省エネルギー対策に向けた法人全体での取り組みを継続した。クリーナース・おおぞら・エイトのA重油・蒸気・電気等のエネルギー使用量は、クリーナース新作業棟の全面稼働により生産量は増大するも、3施設全体で前年比約3%の減となった。
- ⑯ クリーナースの老朽改築事業及び新グループホーム(かえで)建設事業に係る国庫補助申請、開発行為許可申請、工事入札及び契約、諸官庁検査等の事務業務を遅滞なく進め、計画した施設整備事業を適正かつ円滑に執行した。
- ⑰ 施設利用者、職員及び地域のための医療機関として昭和43年に開設した「北海道リハビリー附属診療所」を6月末で閉院した。

2. 施設運営・福祉事業(共通)

- ① 福祉サービスの質の向上等を図ることを目的として、福祉サービス第三者評価を年次計画的に受審している。平成29年度は、「リハビリー・おおぞら」と「エルフィンホーム」が受審した。
- ② 個別支援計画等の実践事例や支援状況の検証等を通じて、利用者支援に係る共通認識の確保と福祉サービスの質の向上等を図ることを目的に設置した「個別支援(全体)会議」については、一定の成果と役割を果たしたことから、サービス管理責任者連絡会議へ統合して廃止した。
- ③ サービス管理責任者連絡会議を月次開催し、法制度や福祉施策等の理解を深めるとともに、支援困難事例等のケース検討や福祉サービス第三者評価の検証、外部研修のフィードバックを行うなど、福祉サービスの向上と事業運営の適正化に努めた。
- ④ 福祉サービスに係る苦情相談については、平成29年度は、利用者やご家族等からの苦情の受理件数は0件であった。苦情相談委員会では、利用者支援事例等を報告し、委員の助言を受けて適切な支援を実践した。

- ⑤ 各拠点が主体となり、特別支援学校、相談支援事業所、ハローワーク等の労働関係機関等との連携を図り、体験利用・利用前提実習・施設見学会等を積極的に実施するなど、施設利用の促進に努めた。
- ⑥ 利用者の送迎サービスについては、JR新札幌駅(北広島施設)への定時送迎を継続実施したほか、利用者個々のニーズや障がい程度等に応じたドアtoドア送迎を各施設において拡大した。利用者の身体的負担やご家族の介護負担等を軽減するとともに、施設利用の促進を図った。また、老朽化した通所利用者送迎用マイクロバス1台を更新した。
- ⑦ 広報誌「かがやき」を年4回発行し、内外に向けて、法人・施設の運営状況や事業活動等の広報・情報提供を行った。法人ホームページについては、迅速な情報発信に加え、さらに有効な情報公開ツールとするべく、リニューアルに向けた検討を進めた。

2-2 リハビリ・クリーナーズ

1. 施設運営・福祉事業

- ① 新作業棟の老朽改築に伴い、平成28年11月開催の理事会で承認を受け、4月1日より就労移行支援事業の定員6名を新設するとともに、就労継続支援A型事業の定員15名を22名に変更し、就労継続支援B型事業の定員25名から32名へ変更を行って事業を開始した。
- ② 新作業棟(ホテルリネン作業棟)への機械移設は、スケジュールに基づき順調に実施され、機械移設が完了したライン毎に部分稼働を行い、6月上旬に全ラインを本格稼働した。また、機械移設後は、旧工場を解体して、第2期外構工事も10月に終了し、これで老朽改築事業が全て完了した。
- ③ 新作業棟完成の周知を図るため、養護学校、福祉相談事業所及び地域から、32団体延べ277名の見学者を受け入れた。また、11月22日に「竣工披露並びに内覧会」を開催し、北広島市や地域住民へ、福祉避難スペースを含む施設の紹介を行った。
- ④ 就労移行支援事業の新規開始により、養護学校と連携を図り、就労継続支援B型を希望する卒業予定者1名が利用を開始し、就労アセスメントを実施した。また、各関係機関及び地域企業の見学の際は、新作業棟の衛生及び作業環境のPRに努めるとともに、相談支援事業所及び地元就労支援企業と連携を図り、A型利用者2名の獲得に繋がった。
- ⑤ 利用者の健康診断結果に基づき、要再検者への通院促進や服薬確認、食事改善等の必要な情報提供を行った。また、障がいの重度化が進行した利用者の現況や健康状態の把握に努めるとともに、医師の所見や利用者家族の意向を踏まえた健康維持管理に努めた。
- ⑥ 聴覚障害等の利用者増に伴い、意思疎通を図る支援体制の構築のため、職員1名が手話講習会を受講し、全従業員へのフィードバック研修会を行った。
- ⑦ 西の里地域たすけあい会議を通じて、西の里夏祭りの運営等への参加や専門職の集会、各施設行事の相互訪問を通じて各福祉事業所との連携及び地域との交流を深めた。また、近隣小学校の総合学習(車椅子体験学習)に法人内他施設の職員と共に参加し、地域との交流を図った。

2. 就労支援事業

- ① 新作業棟稼働後において、作業環境の変化や機器移設等による生産体制の混乱と合わせて、繁忙期及び新規取引物件の開始により、作業量が増大したことから、生産体制の安定化を図るためクリーニング事業本部会議において、入荷から出荷に至る課題を洗い出し、解決に向けた取組みを実施した。
- ② 次世代を担う若手職員と中堅職員の人材育成及び生産の効率化を図るため、洗剤メーカーとのタイアップによる内部勉強会を実施した。また、職員2名が社会福祉主事の資格を取得した。
- ③ 実績及び状況報告(クリーニング事業部)
 - (7) クリーナーズの就労支援事業収益は、実績 667,690 千円であり、予算比 100.2%、1,552 千円の増、前年比 123.4%、126,630 千円の増となった。ホテル関係については、ホテルリネン作業棟の改築・稼働に合わせ、平成28年度まで、おおぞら所管の旧第3工場で洗濯処理が行われていたホテルリネンが、新工場に移管集約されたことから、115,242 千円の増額となり、前年比増額の91%を占める。また、新工場による作業面積の拡大と生産の効率化による増産体制に合わせて、年度当初より中堅ビジネスホテル2件の新規受託を果たし、その他外国人観光客の増加による既存得意先ホテルの稼働率上昇と相まって処理量が増加し、営業的には好材料が重なった。しかし、生産現場では新しいラインへの不慣れや、求人難等による生産従事者不足が重なり、残業が常態化する状況となったことから年度内はホテルリネンの追加受注を控えたことにより、営業成績は微増に留まった。平成30年度からはクリーニング事業本部による増産体制の整備が進むことから、積極的な営業展開を実施する予定である。また、クリーニング作業棟(旧第3工場)の処理対象である食品工場・病院・レストラン等のユニフォームやカーテン類のクリーニングは経費削減を理由に、既存得意先ごとの受注量が軒並み減少傾向となっており、新規顧客の獲得が課題となった。一方、ホームクリーニングは、予算及び前年実績を若干上回り、タイムリーかつリーズナブルな各種セールの重要性を再認識することとなったが、市場の縮小傾向は止まらず、低価格化による売上増は、採算ラインを下回る店舗を良化するまでには至らないなど、状況が好転する材料に乏しいことから、不採算店を中心に営業時間の短縮と最終的な閉店に向けた継続的な取組みを実施する。
 - (8) リネン品資材は、予算比 111.3%、前年比 167.3%となり、予算及び前年実績を下回ることが出来なかった。要因は、予算外(400万円)の既存ホテル資材の追加購入があったことによる。今後においても、棚卸しの徹底及び適正在庫管理を行い、必要最小限の資材ストックなど、無駄のないリネン管理に努める。
 - (9) 集配ルートは、新規物件受託に伴う配送ルート増により、効率的なルートを編成することが出来た。また、直営ルートの細分化を実施し、担当人員を適材適所へ配置し、業務改善を図った。
 - (10) 生産部門等における人員配置の適正化を図るため、パート作業員等の求人を行ったが、求職者数が少なく必要な人員・人材の確保に難航した。このため、業務内容の見直しや求人条件等を緩和するなどにより、多様化する求職ニーズを取り込みながら、人手不足の解消と人員体制の最適化を目指した。(リハビリリー・おおぞら共通事項)

2-3 リハビリー・おおぞら

1. 施設運営・福祉事業

- ① 次世代を担う若手職員の採用(平成30年度)に向け、人事課と連携を図り、企業説明会への参加や施設見学の受け入れ等を行い、新卒学生に対して福祉の魅力や働くことの意義等を伝え、1名の採用に繋がった。
- ② 福祉事業職員に対し、障がい特性に合わせた専門的技術の習得と個別支援計画策定技術の向上を図るため、外部研修に積極的に参加させた。
- ③ ハローワークや各相談事業所等と連携を図り、体験実習の受入等を行ったことで1名が就労継続支援A型事業の利用に繋がった。また、一般就労に向けた様々な取組を適時実施している中で、利用者1名が近隣病院への就労に繋がった。
- ④ 就労支援事業の利用率について、就労継続支援A型事業90%、B型事業100%達成を目指し、相談事業所と情報交換等を行ったが、長期入院の利用者等により、就労継続支援A型及びB型全体で80%程度に留まった。登録利用者数については、支援学校等の関係機関から積極的に実習受入等を行ったが、リハビリー・クリーナース建替えによる利用者の施設替等もあって、定員100名に対し93名に留まった。なお、平成30年度の新規利用者6名利用に向けて準備を行った。
- ⑤ 支援員、指導員、栄養士等専門職の相互連携を図り、情報交換及び施設内外の情報共有による、質の高い福祉サービスの継続提供に努めた。
- ⑥ 多種多様化する障がい特性に合わせた支援体制の強化を図るため、利用者との相談時における相談支援体制を1名から2名体制として聴き取りを行った。
- ⑦ 生産ラインや現行作業の見直しを適時実施するとともに、利用者の作業希望を聴き取り、適切な職業指導体制の構築に努めた。
- ⑧ 福祉サービス第三者評価を受審し、利用者アンケート調査及び自己評価、現地聴き取り調査などが終了した。結果については、後日通知予定である。

2. 就労支援事業

- ① リネン品の適正な使用方法の指導や適正在庫の確認による購入費の抑制等を図るなど、継続的に適時見直しを実施したが、単価上昇や投入量増加等により、リネン消耗品費が予算比102.9%で、4,866千円の増となった。
- ② 設備更新の際、省エネタイプの機種を選定するとともに、電気使用量の目標値を再設定するなど、エネルギー対策等を継続的に見直し実施した。
- ③ 作業の効率化を図るため、生産ラインの見直しを適時実施した。
- ④ 機械設備の定期的なメンテナンス体制の構築に努めるとともに、更なる衛生環境向上に向けたチェック体制の強化を図った。
- ⑤ リハビリー・クリーナースの新作業棟(ホテルリネン作業棟)の稼働に伴い、繁忙期等による作業量の増や作業体制の混乱を避けるため、施設間による作業連携体制等について検討・協議を行い、一部作業の受入や人員を派遣しての協力を行った。

⑥ 実績及び状況報告(クリーニング事業部)

(7) おおぞらの就労支援事業収益は、実績 950,496 千円であり、予算比 101.3%、12,215 千円の増、前年比 89.2%、115,327 千円の減となった。前年比減の主な内容は、平成 28 年度まで、おおぞら所管であった旧第 3 工場で処理していたホテルリネンの作業を、当年度当初からクリーナースに移管したことにより 115,242 千円の減少となった事によるが、このことを除く営業成績としては、前年比 100%の収益を維持することができた。特に病院寝具リネンは、ベッド数の削減、入院日数の短期化により、既存客からの数量増は望めないうえに、病院経営のグループ化が進み、その過程で契約の見直しや解除も発生する厳しい状況にあった。しかし、既存契約先の料金改定及び使用資材変更時の単価アップに努めながら、新規老人施設(サービス付き高齢者住宅) 2 軒の受託及び中規模病院 1 件の寝具クリーニングを受託したことなどにより、予算を上回ることができた。

また、白衣リース契約においては、リネン品の損耗交換や追加投入の際に、一部再利用品を活用するなどの取り組みを行い、リネン消耗品購入費用の削減に繋がった。

(4) リネン品資材は、当初予定外の新規取引もあり、予算比102.9%、前年比107.0%となった。棚卸の徹底及び適正在庫管理に努めるとともに、必要最小限の資材ストックなど、無駄のないリネン管理を図りながら、資材の購入単価及び品質等を検討し、製品の見直しを含めた検討を行った。

(7) 集配ルートは、新規物件受託に伴う配送ルート増により、効率的なルートを編成出来た。また、苫小牧及び室蘭方面への新規ルート作成により、他ルートが抱える物量の問題改善に努めた。

(5) 生産部門等における人員配置の適正化を図るため、パート作業員等の求人を行ったが、求職者数が少なく必要な人員・人材の確保に難航した。このため、業務内容の見直しや求人条件等を緩和するなどにより、多様化する求職ニーズを取り込みながら、人手不足の解消と人員体制の最適化を目指した。(リハビリ・クリーナース共通事項)

2-4 リハビリ・エイト

1. 施設運営・福祉事業

① 利用者の障がい特性に応じた良質かつ適切なサービスを提供し、利用率向上に努めた。

また、特別支援学校や福祉関係機関等への利用促進活動を継続するとともに、施設見学・体験利用等を積極的に実施し、利用者確保に繋げる対応に努めた。

<新規利用者4名、実習7件(22名)、施設見学28件(678名)>

② 年間研修計画に基づき、個々のキャリア・スキル等に応じた外部職員研修への積極的な参加に努めるとともに、ブレインストーミングなどを用いたグループ討議による内部研修を実施し、福祉サービスにおける支援の振り返り、自己評価を行い支援に対する意識強化を図り、人材育成に努めた。また、アンガーマネジメント診断により自身の特性を把握し、コミュニケーションの場に生かしていくことで、福祉職員としての資質・専門性の向上に努めた。

- ③ 日常の支援行動が、虐待や差別と受け取られないように、会議やミーティング等で法律の内容を再確認しながらの支援に努めるとともに、関係法令についてはコンプライアンスの徹底を図り、体制の維持に努めた。
- ④ 施設入所支援事業・生活介護事業
- (7) 重度化する身体状況に応じ、2人体制での入浴・トイレ介助・ベッド上での排泄支援等の対応、居室清掃などの日常生活支援の個別対応に取り組んだ。身体機能の維持回復、疾病等の予防、持病の改善等においては、個々の心身状況に応じた看護ケアや栄養ケアを提供するとともに、職員同行による病院受診の充実に努めた。9月末に男性浴室に特殊浴槽を設置し、施設入所支援、生活介護利用者の障がい特性や利用ニーズに応じた支援体制の強化を図った。
- (f) 利用者の日中活動については、習字や切り絵、手工芸、菜園作りなどの創作的活動を継続実施したほか、梅林見学やイチゴ狩りなどの施設外レクリエーション、創作ゲーム等の余暇的活動を実施し、個々の心身状況や利用者の意向を反映したプログラムの提供に努めた。
- (g) 支援の実践やOJTを通じた教育研修を行うとともに、会議等で職員間の連携を図り、支援ケースの共有・検証等を行うことで、介助技術、相談支援等の業務に関わる専門性の向上と支援の統一化に努めた。また、外部講師による実践的な介護技術演習を実施し、職員の介護技術向上を図った。
- (d) 平成28年の神奈川県福祉施設殺傷事件を受け、防犯対策強化を図るため、国庫補助を活用して防犯カメラ等の防犯設備を設置した。
- ⑤ 就労継続支援B型事業
- 多様化する利用者ニーズや障がい特性、心身状況等を踏まえて、作業訓練の内容・時間・環境などに配慮した就労支援を行うとともに、個別面談を適時実施し、精神的・情緒的安定を図りながら、就労に関わる基本的習慣の確立と作業意欲・作業能力の維持向上に努めた。また、聴覚障がい者への合理的配慮を図るため、職員の手話勉強会を定期的で開催した。
- ⑥ 就労移行支援事業
- 一般就労に向けたアセスメントや就労支援プログラム(SST)等を実施するとともに、日常における挨拶や言葉遣い等、改善事項の注意・助言を行い社会性の向上に努めた。また、平成28年一般企業へ就職した2名に対し、企業訪問支援、面談、連絡等を実施し、定着支援に努めたが、内1名は業務レベルが思うように上がらず、期間満了により退職となった。
- ⑦ リハビリイー・エイトの今後の事業のあり方について、エイトワーキンググループ及び事業検討会議において集中的に議論を進め、12月開催の理事会において、施設入所支援と生活介護を今後の実施事業の主軸とし、支援の専門性を高め、より充実した支援体制を構築すること等を柱とした見直し案が承認されたことから、平成30年度より本格的に事業の再構築に取り組む。

2. 就労支援事業

① 印刷事業部

(7) 受注獲得と収益確保に向けた営業活動を継続

平成29年度の受注状況については、予算策定時に営業が個々に見込んだ物件に対する受注が思うように伸びず、就労支援事業収益は、実績496,536千円で、予算比96.5%・18,123千円の減、前年比91.2%・48,047千円の減と厳しい結果となった。新規受注獲得数は、前年比15件増の133件となったが、金額は3,170千円減の10,820千円に留まった。また、既存顧客の深耕による受注拡大については、前年比49件減の699件、23,070千円減の61,350千円と、受注件数減に加えて、受注単価が低いという状況が顕著となった。オンデマンド印刷は、前年比10件増の1257件であったが、売上は2,910千円減の63,920千円であった。その他の受注見込物件については、作成取りやめや小ロットによる受注額減、見積合わせによる受注減等、経費削減の影響を受け、収益に結びつかなかった。

(4) 業務管理システムの導入に伴う効果的な運用

平成28年度に販売管理の基幹システムを導入し、平成29年度からは法人本部の会計処理との整合性が図られる状態で運用している。システムは、下期に運用上調整が必要な部分の修正とカスタマイズを実施し、現在は適正に稼働している。なお、平成30年度導入を予定していた、現在のシステムと連動する受注管理・進行管理システムについては、事業運営状況を勘案して見送ることとした。

② 施設(生産活動・就労支援)

(7) 印刷市場の動向や市場ニーズ等を踏まえた生産体制への段階的移行

多様化する顧客ニーズと品質維持に対応するため、オフセット印刷との稼働調整を進めながら、デジタル関連機器整備と製品の安定供給・生産効率の向上に努めた。オンデマンド印刷のコスト削減策として、出力損紙削減の強化及び多面付出力によるカウンターコスト(前年比77.9%、2,530千円の減)の抑制に取り組む等、積極的に経費削減を図った。また、超過勤務については、納期集中による生産ラインへの過負荷分散や稼働率の調整を図りながら抑制に努めたが、繁忙期の作業量増加の影響により、平成28年度より増加となった。(前年比103.8%、169時間の増)

(4) 利用者の障がい状況、ニーズの多様化等を踏まえた就労支援の提供

利用者個々の障がい特性やニーズに合わせ、作業工程や作業時間などに柔軟に対応するとともに、作業領域を踏まえた軽作業の継続的な提供に努め、作業参加率の向上を図った。また、毎日のカンファレンス、利用者支援連絡会議、福祉事業職員研修などを定期的実施し、情報の共有化を図り、利用者支援の充実に努めた。

2-5 美しの森

1. 施設運営・福祉事業

- ① 生活介護事業主体である「札幌ワークセンター」の施設名の変更について、平成28年11月開催の理事会・評議員会で承認を受け、4月1日より施設名を「美しの森」へ変更し事業を開始した。
- ② 地域密着型施設を目指し、町内会へ加入するとともに、町内会主催の夏祭りの準備等に参画した。また、地域住民を対象としたイベントを2回実施し、交流促進に努めるとともに、法人・施設等の説明を行い、施設運営に対する理解を深めて頂いた。
- ③ 平成30年度に地域生活支援拠点等の制度が実施されることに対し、地域ニーズに基づいた重度の全身性障がい者の受け入れに備え、職員の更なる資質向上を目指し、施設内研修において、各職員が設定した福祉に関するテーマや課題についての調査・研究結果を発表・共有し、職場での積極性及び福祉に対する意識向上の醸成に努めた。
- ④ 生活介護事業の利用率100%を目指し、利用者の多様なニーズに可能な限り対応したサービス提供に努めたが、利用率は99.4%に留まった。
- ⑤ 事故のない安全なサービスの提供を図るため、当施設におけるヒヤリハット体験を職員会議で共有・討議するとともに、他施設における介護事故・事件の事例や原因を共有し、同様の事故発生の防止に努めた。また、平成28年の神奈川県福祉施設殺傷事件を受け、防犯対策強化を図るため、国庫補助を活用して防犯カメラ・機械警備システム等の防犯設備を設置した。
- ⑥ 利用者の多様な障がい種別等への対応を図るため、施設内研修の充実に努めるとともに、職員の資格取得の奨励に努めた。
＜介護福祉士実習指導者2名取得、介護福祉士1名取得、社会福祉主事2名受講中＞

2. 就労支援事業

- ① 個々の障がい特性に対応した作業指導を実施するとともに、利用者の要望(働くことや生活にまつわること等)をテーマに取り入れた就労支援プログラム(SST)を実施し、利用者の就労意欲向上を図った。
- ② 就労継続支援B型利用者2名が、障がいの重度化に伴い他施設へ移行したことから、利用率は55.2%に留まったが、特別養護老人ホームの清掃や札幌市近隣公園清掃の施設外就労先の拡大に伴い、利用者工賃は、前年比6.8%増となった。

2-6 セルプさっぽろ

1. 施設運営・福祉事業

- ① 施設利用登録者数の増加に伴い、平成28年11月開催の理事会で承認を受け、4月1日より就労継続支援B型事業の定員64名を84名に変更して事業を開始した。
- ② 保護者との個別相談会や作業見学会(利用者41名、保護者51名)を実施し、日々の作業訓練状況や支援体制を確認してもらうとともに、家庭内での課題や年金、就職、地域移行等幅広い問題に関する相談に応じるなど、利用者の保護者との情報共有及び相互理解を深めた。特に、障がいの重度化や保護者の高齢化に伴い、親亡き後の生活や本人の意思決定を支えるしくみについての相談が多くあったことから、グループホームや入所支援施設等の住まいの場をはじめ、在宅サービスや成年後見制度など、利用者や保護者の希望に沿って具体的な選択肢を提示し、施設見学等に引率するなど、相談支援事業所等とも連携を図りながら、長期的視点に立ったきめ細かな支援に努めた。
- ③ 一般就労を希望する利用者に対し、定期的に就労支援プログラム(SST)を実施した他、ハローワークや障がい者職業センター等の各関係機関と連携を図り、一般就労に向けた取り組みを行った結果、2名が就職に繋がった。また、就職した利用者に対し、障がい者職業センター等と連携を図りながら、チームでの継続的な定着支援に努めた。
＜カフェ店員1名・介護保険施設事務補助員1名＞
- ④ 福祉職員としての知識と資質向上を図るため、サービス管理責任者研修をはじめ、福祉専門職のキャリアアップ研修、相談員研修、リスクマネジメント研修、アンガーマネジメント研修、OJT担当者養成研修等の外部研修へ積極的に参加した。また、個別支援計画やアセスメント等のケアマネジメント技術の習得、発達障がい者への支援ノウハウ、障がい者虐待防止・権利擁護、障がい福祉制度等に関する内部研修を12回実施し、利用者支援に関する職員全体のレベルアップに努めた。
- ⑤ 新規利用者獲得を図るため、特別支援学校及び特別支援学級からの見学や実習の積極的な受け入れに努めるとともに、就労継続支援B型を希望する卒業予定者に対し、就労アセスメントを実施し、平成30年度に5名の新規利用が決定した。また、引きこもり者等への積極的な就労支援に努め、3名の新規利用に繋がった。
- ⑥ 毎月の土曜日開所に、利用者からの要望が多い社会見学等の屋外行事を中心に行うとともに、自治会主催行事及び自治会活動への積極的な支援に努め、利用者との信頼関係の向上を図った。
＜自治会主催行事：焼肉会(7月)、宿泊旅行(9月)、クリスマス会(12月)＞
＜施設見学・施設外レク：(4月・5月・6月・8月)＞
＜施設内レク(10月・11月・1月・2月・3月)＞
- ⑦ 地域における公益的な取り組みとして、生活困窮者就労訓練事業の実習生6名(月寒5名：やまはな1名)を受け入れるとともに、個々の将来的な希望や困窮した原因・背景等に配慮しながらの就労訓練に努めた。内2名は、困窮の原因が障がいによるものと判断し、障がい者手帳の取得サポートなどを行い、就労移行支援及び就労継続支援A型のサービス利用に繋がった。また、職員及び利用者7名が、自動車ディーラー主催の秋の交通安全運動街頭啓発活動に参加し、地域交流を深めた。

- ⑧ 利用者の安全確保及び防犯対策の強化を図るために、札幌市民間社会福祉施設等整備費補助金を活用して、施設玄関及び建物周辺を監視する防犯カメラ4台及び人感知ライト4台設置した。
- ⑨ 利用者2名が一般企業へ就職し、平成18年障がい者自立支援法施行後の就職者は、延べ40名となった。

2. 就労支援事業

(1) セルプさっぽろ

- ① 既存物件の安定的な受注継続を図るため、取引先等を通じた受注動向の的確な把握に努めるとともに、サイズの多様化等により作業内容が複雑化している一部製品については、10%アップの価格改定を行うなど、受注価格の適正化及び安定した収益の確保に努めた。また、新たに医療法人等のエプロンやスーパーのオリジナルダスター、交通局の整備服、ゴルフ場のキャディー服、また、元気ジョブのマッチング事業を活用した子どもみらい局のエコバッグの受注など、新規物件の積極的な獲得と受注量の増加に努めた。
- ② 多様化する障がい特性に対応した作業環境の整備に努めるとともに、個々の作業適性に配慮し、作業工程を細分化するなど、個別支援計画の定期的なモニタリングに基づいた、適切なケアマネジメントによる支援体制の強化に努めた。
- ③ 縫製部門における人材育成と支援体制の強化を図るため、利用者の多様な障がい特性や作業適性に応じて編成している難易度別班体制の担当職員の再配置を実施するとともに、幅広い作業支援業務を経験させる体制を構築した。
- ④ セルプさっぽろ全体(ウェルプラザやまはなを含む)の就労支援事業収益は、実績 79,265千円で、予算比 104.0%・3,072千円の増、前年比 98.0%・1,607千円の減となった。前年比減の主要因は、平成28年度には縫製事業において一過性の大型物件があったことなどによる。軽作業、ウェス販売、施設外就労による収益は、それぞれ予算比・前年比ともにプラスで推移した。

(2) ウェルプラザやまはな(従たる事業所)

- ① 顧客確保と売上向上を図るため、ワイシャツの抗菌・防臭加工の無料サービスを開始するとともに、特価商品やのぼり、POP広告等の販促品を季節ごとに更新するとともに、元気ジョブのマッチング事業を活用し、新規物件の獲得に努めた。
- ② 顧客満足度の向上を図るため、品目ごとの商品知識を深める勉強会や接客マナー等の内部研修を実施し、職員の専門的知識や資質の向上に努めた。
- ③ 就労支援事業収益は、店舗他 15,317千円、会社産業等 25,736千円、合計 41,053千円で、予算比 101.8%・728千円の増、前年比 101.4%・582千円の増と、概ね堅調に推移した。
- ④ 平成28年度における就労継続支援A型利用者の賃金実績が、月額平均144,683円となり、全道210事業所中・1位となった。

2-7 エルフィンホーム

1. 施設運営・福祉事業

- ① 新グループホームが9月に完成したことから、職員の募集・採用及び入居者の募集・決定を順次行い、10月から円滑に運営を開始し、年度末においての入居者は、定員8名に対し7名となった。なお、ユニット名は、職員及び利用者から公募し、「かえで」に決定した。
- ② 自治会活動を中心として、ボランティアカーニバルへの出店及び町内会行事等への積極的な参加に努めるとともに、地域会議及び福祉教育などへ積極的に参加・協力し、地域住民等との交流促進に努めた。
- ③ 利用者へのサービス向上を図るため、世話人会議を通じて、日々の入居者の状況把握と情報の共有に努めるとともに、個々の障がい特性に対応した個別支援計画の作成と計画に沿った支援の実施に努めた。特に、新グループホーム「かえで」の開設に伴い、新規利用者への十分な聴き取りを行い、障がい状況に配慮した個別支援計画の作成に努めた。
- ④ 適切な支援技術と知識の向上を図るため、外部研修へ参加するとともに、研修参加者による内部研修を定期的実施し、職員の資質向上に努めた。
- ⑤ 新グループホームの入居候補者を含めた見学会の実施や実習生の積極的な受け入れに努めるとともに、相談支援事業所をはじめとする、入居者の出身校や関係施設との連携を図り、更なる支援の充実に努めた。
- ⑥ 福祉サービスの質の向上を図るため、福祉サービス第三者評価を受審した。職員及び利用者を対象とした制度の説明及び利用者アンケートの実施及び自己評価の提出等を行うとともに、訪問調査、管理者及び職員へのヒアリングなどが実施された。評価結果は、後日通知予定である。
- ⑦ 利用者の安全確保及び防犯対策の強化を図るため、国庫補助を活用して防犯カメラ等の設備を設置したほか、車のライトに反射する「リストバンド」を常備し、入居者の夜間外出時の着用奨励に努めた。また、新設した「かえで」の防犯対策も図るため、同じく防犯カメラ等の国庫補助申請を行い、交付の決定を受けた。

2-8 陽だまり

1. 施設運営・福祉事業

- ① 定員の充足を図るため、一時保護委託の活用による体験入居の実施及び児童自立支援施設との連携による定期的な個別ワークの実施に努めた。
- ② 利用者の自立生活促進を図るため、各関係機関と連携し、個々の生活歴や性格行動面の課題などの把握に努めるとともに、利用者の意向を踏まえて、自立に向けた目標を盛り込んだ児童自立支援計画を作成し、計画に沿った支援に努めた。
- ③ 自立心の助長及び社会参加意欲の向上を図るため、施設行事の実施と地域行事へ積極的に参加し、交流に努めるとともに、法人内事業所と連携し、体験入居時における就労体験を通じた就労への意識付けと就労機会の提供を行った。また、補習教育の一環として、利用者には漢字検定を奨励し、受検を行った。

- ④ 利用者個々の様々な課題への対応を図るため、医療機関等や児童相談所の訪問指導、一時保護機能を活用し、適切な支援に努めた。また、適切な支援技術や知識の向上を図るため、外部研修への積極的な参加に努めるとともに、研修参加者及び関係施設の長を招いての内部研修を定期的実施し、子どもの特性や支援方法に関する情報を共有するなど、職員の資質向上に努めた。
- ⑤ 防犯対策強化を図るため、国庫補助により平成28年度に設置した防犯カメラ等の適切な運用に努めた。

2-9 ポプルス

1. 施設運営・福祉事業

- ① 相談者の要望や状態等に則したサービス等利用計画の作成を図るため、相談支援ネットワークを活用し、適切な福祉サービスに繋がるよう相談支援に努めた。
- ② 相談者の相談内容やニーズに基づいた情報提供に努めるとともに、社会保障制度に係わる申請が必要な相談者への適切な情報提供及び適切な支援に努めた。
- ③ サービス等利用計画の作成件数増を図るため、積極的な事業所周知に努め、24件の新規相談者を受付け、利用者のニーズに基づいた計画の作成に努めた。

3. 地域に向けた社会貢献の取り組み状況

3-1 地域における公益的な取り組み

(1)生活困窮者支援

○ 生活困窮者自立支援法に基づく「認定就労訓練事業」を実施しています

長期離職者、ニートやひきこもり、心身に課題があるなどにより、直ちに一般就労が難しい、または就労に困難を抱える生活困窮者に対し、職場体験実習や就労の機会等の提供を通じて、社会復帰に向けた支援を行っています。

(2)地域に向けた事業展開

○ 災害時に福祉避難所を開設します

大規模災害発生時において、一般の避難所で生活することが困難な方々の避難場所として施設内に「福祉避難所」を開設し、地域の障がい者や高齢者等の要配慮者を受け入れます。安心して過ごせるよう、非常食・災害備品の備蓄や訓練を行っています。(北広島市と「災害時における福祉避難所の設置及び運営に関する協定」を締結)

○ 地域と連携した防災協力体制づくりに取り組んでいます

- ・地域の医療機関、高齢者施設との3者による災害時の相互応援体制を定めています。
- ・地域の連合町内会の自主防災計画において、災害時に法人から必要な支援を行うことを定めるなど、地域住民・事業所と連携した相互支援体制を構築しています。
- ・町内会の防災備品をグループホーム内で保管し、災害時において搬出支援等を行う応援体制を構築しています。

※道央圏の救急医療用ヘリコプター「ドクターヘリ」のランデブーポイント(場外離着陸場)として、施設構内を提供しています。

(3)地域に向けた福祉教育活動

○ 地域の小中高校と連携したキャリア教育推進事業へ参画し、地域の未来を担う人材育成に取り組んでいます

地域の小学校・中学校・高等学校を核とし、地域の産学官が連携して未来を担う人材を育成することを目的とした北海道教育委員会の「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」に民間事業者代表として参画し、小中高生の体験学習やインターンシップを受け入れているほか、高校生との意見交流会や成果発表会、地域住民参加型の講演会や次世代育成交流会等を実施しています。

(4)地域の社会的ニーズへの支援

○ 季節労働者の通年雇用の促進に向けた支援を行っています

冬期間に離職を余儀なくされる季節労働者の通年雇用の促進するため、北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会と連携した就業支援を行っています。北広島市内に在住する季節労働者に対して、他業種で働く不安の解消や適性判断等を行うこと目的とした職場見学会や職場体験実習の機会を提供しています。

(5)地域の社会資源等とのネットワークづくり

○ 「地域たすけあい会議」に参画し、地域の包括的ケア体制の構築に取り組んでいます

西の里地域で働く福祉分野等の専門職による地域住民同士の助け合いの仕組みづくりや地域の包括的ケアなどについて、協議・実践するための地域会議「西の里たすけあい会議」に参画しています。年間を通じて、地域住民に向けた研修会や総合学習(車椅子体験学習等)を開催しているほか、高齢者住宅等の除雪活動、地区夏まつりの準備協力、近隣高校が行うボランティア活動への協力などを実践しています。

(6)地域とのふれあい交流活動～施設開放行事の開催

○ 地域交流イベント「ボランティアカーニバル」を毎年開催しています

地域の障がい者・高齢者・住民との交流を目的とした施設開放イベントを毎年開催しています。地域の年中行事として定着したこのイベントには、地域の活動団体等の出演・出展・出店のほか、地元中学校の吹奏楽演奏の場の提供や大学生の会場設営ボランティアの参加などを通じて、地域コミュニティの形成と活性化を図っています。毎年、1,000名を超す地域の皆さんの参加・来場を得ています。

3-2 その他の地域貢献活動

(1)地域福祉の推進に向けたネットワーク活動

○ 地域の自立支援協議会へ参加しています

地域の障がい福祉関係者等による相互連携や支援体制等に関する協議を行う場として設置された「障がい者自立支援協議会」に委員として参加しています。地域の現状や課題等の情報共有や情報発信、支援困難ケースの検討や障がいの理解を促進するための学習会の開催、障がい福祉計画に対する意見提出など、地域福祉の推進と課題の施策化に向けたネットワーク活動を実践しています。

○ 北広島市認知症高齢者等SOSネットワーク事業へ参加しています

徘徊または徘徊の恐れのある認知症高齢者や障がい者が行方不明になったときに迅速に対応し、早期発見・保護することを目的とした「北広島市認知症高齢者等SOSネットワーク事業」に参加(登録)しています。行政、警察署等の地域の関係機関との連携の下に、情報の相互提供や捜索協力などの支援を行っています。

(2) 地域に向けた事業展開

○ サロン活動や地域住民参加型の行事等を開催しています

施設内にコミュニティ・カフェを設置し、地域住民が日常的に集うことができる居場所づくりに取り組んでいます。また、地域住民参加型の施設開放行事の開催や町内会行事への参加等の相互交流を通じて、地域コミュニティを生み出す活動に取り組んでいます。

○ 施設周辺の環境美化活動を実施しています

地域の環境美化に資する取り組みとして、春と秋の年2回、施設構内から周辺国道歩道にかけて、ゴミ拾い清掃活動を行っています。また、グループホームと児童自立援助ホームにおいては、町内会の一斉清掃や花壇整備活動へ参加しています。

○ 交通安全の街頭啓発活動を実施しています

地域の企業が主催する交通安全街頭啓発活動に参加し、ドライバーへ安全運転を呼びかけるなど、地域における交通安全意識の高揚に取り組んでいます。

(3) 地域の相談支援ニーズへの対応

○ 特定相談支援事業所における各種相談への対応

特定相談支援事業所では、地域の障がい者が抱える様々な相談に対する窓口として、障がい福祉サービスの利用の有無に関わらず、障がい者やそのご家族からの一般的な相談にも広く応じ、必要な情報の提供や助言等を行っています。事業所が有する機能と専門性を地域に還元すべく、サービス等利用計画に関わる計画相談支援のみならず、地域の障がい者の様々な相談ニーズに対応しています。

(4) 地域に向けた福祉教育活動

○ 地域の学校からの職場実習やインターンシップ等を受け入れています

- ・地域の大学や専門学校から、実習生や研修生、インターンシップ等を多数受け入れています。
- ・北海道教育委員会が実施する公立学校教員向けの「初任段階教員研修事業」の受け入れ施設として事業に協力しています。施設内において、障がい者福祉に関わる講義研修や就労支援実習、介護実習等の研修を提供しています。
- ・地域の小中学校の総合学習授業への参加や職業体験・施設見学などを積極的に受け入れるなど、学校との連携による教育支援を行っています。

4. 理事会・評議員会等

開催日	審議内容等
4月10日	<p>【建設委員会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席委員数 3名）</p> <p>報告事項 ① グループホーム新設工事に係る入札結果について</p> <p>審議事項 ① 防犯設備設置工事の事業実施計画について</p>
4月17日	<p>【評議員懇談会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席評議員数 8名）</p> <p>説明事項 ① 改正社会福祉法について ② 法人・施設の概要説明及び施設見学等</p>
5月30日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルさっぽろ芸文館（出席理事数 5名）</p> <p>決議事項 ① 平成28年度事業報告(案)について ② 平成28年度決算報告(案)について ③ 平成28年度監事監査報告 ④ 基本財産の処分について ⑤ 社会福祉法改正に伴う諸規程の制定について ⑥ 法人内組織体制変更に伴う建設委員の変更について ⑦ リハビリー・エイト管理者の任命について ⑧ 平成29年度労働組合の要求に対する回答について ⑨ 夏季賞与について ⑩ 施設利用者の精勤手当等について ⑪ 利用者社会参加支援のための寄付金募集について ⑫ 施設設備整備について ⑬ 平成29年度定時評議員会の開催について</p> <p>報告事項 ① 事業実績及び資金繰りについて(2月～3月、4月) ② 運営状況について(2月～3月、4月～5月) ③ 平成28年度北海道及び札幌市による指導監査の結果について ④ 理事長からの業務報告 ⑤ 建設委員会からの報告 ⑥ 施設設備整備実施結果について ⑦ 理事の競業取引及び利益相反取引に係わる報告について</p>

開催日	審 議 内 容 等
6月15日	<p>【定時評議員会】</p> <p>会場：センチュリーロイヤルホテル（出席評議員数 9名）</p> <p>決議事項 ①平成28年度 事業報告 ②平成28年度計算書類及び財産目録の承認並びに社会福祉充実残額について ③平成28年度監事監査報告 ④基本財産の処分について ⑤定款変更について(特別決議事項) ・リハビリー・クリーナース老朽改築事業に伴う基本財産の増減 ・附属診療所の廃止に伴う「公益を目的とする事業」の削除 ⑥役員(理事及び監事)の選任について ⑦会計監査人の選任について ⑧役員等及び評議員報酬等支給規程の制定について(理事及び監事等の報酬等の支給基準並びに報酬額について)</p> <p>【定例理事会】</p> <p>会場：センチュリーロイヤルホテル（出席理事数 6名）</p> <p>決議事項 ① 理事長の選定について ② 常務理事(業務執行理事)の選定について ③ 資金運用審査委員の選任について ④ 会計監査人の報酬について</p>
6月26日	<p>【建設委員会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席委員数 7名）</p> <p>審議事項 ① リハビリー・クリーナース第二期外構工事に係る予算増額について</p>

開催日	審 議 内 容 等
9月27日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ（出席理事数 6名）</p> <p>決議事項 ①施設設備整備の実施計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水の改修工事(セルプさっぽろ) ・カラーオンデマンド印刷機の更新事業(リハビリー・エイト) ・送迎用マイクロバスの更新事業(法人本部) <p>②事業所内作業場の増築工事の計画について(セルプさっぽろ)</p> <p>③運営規程の改定について(エルフィンホーム)</p> <p>④評議員会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款変更(新グループホーム開設に係る基本財産の増) <p>報告事項 ①理事長からの業務報告について(理事長専決事項含む)</p> <p>②事業実績及び資金繰りについて(5月～8月)</p> <p>③運営状況報告について(5月～9月)</p> <p>④平成29年度第2四半期 監事監査報告について</p> <p>⑤建設委員会からの報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリー・クリーナース第二期外構工事に係る予算増額 <p>⑥施設設備整備の実施報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの新設工事(地域福祉推進室) ・防犯設備の設置工事(リハビリー・エイト、エルフィンホーム、美しの森) ・特殊浴槽の新規導入事業(リハビリー・エイト) ・全自動水洗脱水機の更新事業(リハビリー・おおぞら) ・ワイシャツシングルスリーブ機の更新事業(セルプさっぽろ) ・送迎用車両の新規導入事業(セルプさっぽろ) <p>⑦福祉サービス第三者評価の受審結果について(リハビリー・エイト)</p> <p>⑧その他報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の手数料収入の取り扱いについて ・HR未来委員会報告書(平成28年12月21日報告) ・エルフィンホーム新棟の施設見学について(ご案内)
	<p>【理事懇談会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ（出席理事数 6名）</p> <p>検討事項 ① リハビリー・エイトの今後の事業展開のあり方について</p> <p>② 特定相談支援事業所ポプルスの今後の事業展開のあり方について</p>
10月13日	<p>【第2回評議員会】</p> <p>評議員全員の同意書による決議（同意評議員数 9名）</p> <p>決議事項 ①定款変更について(特別決議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新グループホーム開設に係る基本財産の増 <p>※社会福祉法第45条の9第10項及び定款第13条第4項の規定に基づき、評議員会の招集手続き及び開催による決議を省略</p>

開催日	審 議 内 容 等
12月 7日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席理事数 7名）</p> <p>決議事項 ①平成29年度補正予算(案)について ②年末賞与について ③利用者の精勤手当等について ④就業規則の改定について ⑤今後の事業展開のあり方について ・リハビリー・エイト ・ポプルス</p> <p>⑥法人事業の見直しについて ・クリーニング事業本部の発足</p> <p>報告事項 ①平成29年度上半期事業状況について ②監事監査報告について ・会計監査報告 ・第3四半期監事監査報告</p> <p>③理事長からの業務報告について(理事長専決事項) ④業務執行理事からの業務執行状況報告について ⑤事業実績及び資金繰りについて(9月～10月) ⑥運営状況報告について(9月～12月) ⑦北海道及び札幌市の指導監査結果について ・リハビリー・クリーナース、リハビリー・おおぞら、美しの森</p> <p>⑧施設設備整備の実施報告について ・クリーナース老朽改築事業に係る第2期外構工事(リハビリー・クリーナース) ・屋上防水の改修工事(セルプさっぽろ) ・カラーオンデマンド印刷機の更新事業(リハビリー・エイト)</p>
12月13日	<p>【評議員懇談会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席評議員数 8名）</p> <p>報告事項 ①平成29年度上半期事業状況について ・平成29年度上半期事業報告書(中期計画進捗状況含む) ・平成29年度上期財務諸表</p> <p>②平成29年度補正予算(案)について ③今後の事業展開のあり方について ・リハビリー・エイト ・ポプルス</p> <p>④その他報告事項</p>

開催日	審 議 内 容 等
3月13日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ（出席理事数 6名）</p> <p>決議事項 ①平成30年度事業計画(案)及び予算(案)について ②当座貸(借)越契約及び所内預金の保全措置について</p> <p>報告事項 ①平成29年度決算見込みについて ②理事長からの業務報告について(理事長専決事項) ③事業実績及び資金繰りについて(11月～1月) ④運営状況報告について(12月～3月) ⑤施設設備整備の実施報告について ・送迎用マイクロバスの更新 ⑥その他報告事項</p>

5. 職員研修等

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
5月11日 ～12日	新人職員マナー研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	大須田、中澤
12日	今すぐできる変化対応型リーダーシップ研修 キャリアバンク	〃	服部
16日	勉強会・座談会 自立支援協議会清田区地域部会	〃	工藤(竜)
16日 ～17日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(班級コース) 北海道社会福祉協議会	〃	五十嵐、高松、松本(恭)
17日 ～21日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	佐伯(肇)
22日 ～26日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	〃	川村(昭)
24日	ビジネスセミナー～人材を育成する人事考課のしくみ～ 札幌商工会議所	札幌市	吉ヶ谷
30日	人材戦略セミナー 川原経営総合センター	〃	竹本
30日 ～6月3日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	生島
31日 ～6月1日	新任介護職員研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	高橋(望)
6月4日 ～8日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	森(智)
7日 ～8日	介護職員専門研修 I 北海道社会福祉協議会	札幌市	池野
16日	危険物取扱者保安講習 北海道危険物安全協会連合会	北広島市	谷川
〃	平成30年障害者総合支援法改正説明会 PAサポートセンター、札幌市自閉症・発達障害支援センター	札幌市	藤原(雅)、大山(毅)
19日	個別支援の実現に向けたケアガイドライン研修会 北海道身体障害者福祉施設協議会	〃	工藤(竜)、横山(美)
21日 ～22日	新任職員研修 北海道リハビリ(法人本部)	施設内	阿部(敏)、伊東、太田(宏)、木村(圭)、 國本、小竹、笹川、佐藤(麻)、富樫、 中澤、中谷、菱木、山越(真)
22日	平成29年度算定基礎届事務講習会 新さっぽろ年金事務所	札幌市	笠田
26日	障がい者支援員養成研修 札幌市自立支援協議会	〃	宮崎
27日	福祉施設におけるボランティア受入担当者研修(実践編) 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター	〃	工藤(竜)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
6月27日	北広島市における就労アセスメントに係る説明会 北広島市保健福祉部	北広島市	奥田(雅)、佐藤(貴)、渡辺(芳)、 生島、梶川、佐伯、新谷、 山形
27日 ～7月1日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	清水
29日 ～30日	社会就労センター施設長・職員研修会 北海道社会就労センター協議会	札幌市	福田(一)、小田、菅原(宗)、 道下(健)、吉ヶ谷、伊藤(義)、 鳥居、秋元、小野(智)、梶川
7月3日 ～4日	相談支援従事者研修(基礎研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	〃	中川(里)
4日	社会福祉法人経営者セミナー 北海道社会福祉協議会、北海道社会福祉法人経営者協議会	〃	石崎、吉ヶ谷
4日 ～5日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(チームリーダーコース) 北海道社会福祉協議会	〃	布村(匡)
10日	障がい者支援員養成研修 札幌市自立支援協議会	〃	宮崎
12日 ～13日	中堅職員研修 北海道リハビリ(法人本部)	施設内	阿部(仁)、伊藤(大)、大山(毅)、 梶川、河端、谷永、布村(将)、 浜根、山邊、山本(正)
14日	社会福祉法人会計セミナー 福祉医療機構	東京都	旭
〃	障がい者支援員養成研修 札幌市自立支援協議会	札幌市	宮崎
19日	勉強会・座談会 自立支援協議会清田区地域部会	〃	工藤(竜)
〃	施設職員スキルアップ講座(新任職員編) 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	〃	小山、富樫
20日 ～21日	職場研修担当者(OJT担当者)養成研修 北海道社会福祉協議会	〃	佐藤(貴)、鳥居、中井
24日	クレーム対応セミナー(基本編) 北海道民間社会福祉事業職員共済会	〃	横山(美)
27日	福祉・医療・保健関係者のための成年後見セミナー 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター	〃	藤原(雅)、大山(毅)
27日 ～28日	全国社会就労センター総合研究大会(兵庫大会) 全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会	兵庫県	福田(一)
〃	新任経理・総務担当者研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	伊東
28日	ニューパワー全体セミナー 札幌市社会福祉協議会	〃	三上(雅)
8月1日	安全運転管理者・副安全運転管理者講習 北海道公安委員会	〃	藤原(雅)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
8月3日	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会 北海道社会福祉協議会、北海道社会福祉法人経営者協議会	札幌市	石崎
〃	下請法・優越的地位の濫用規制に関する基礎講習会 公正取引委員会事務総局北海道事務所下請課	恵庭市	菅原(靖)
3日 ～4日	新任施設相談員研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	秋山、中澤
7日	施設職員スキルアップ講座(中堅職員編) 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	〃	飯澤、上、佐藤(麻)、廣島、 松本(恭)
〃	札幌市身障連協職員研修会 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会	〃	小田、藤原(雅)、小峯
8日	改正個人情報保護法対策/働き方改革/ランサムウェア対策セミナー キャノンシステムアンドサポート	〃	吉ヶ谷
8日 ～9日	メンタルヘルス研修 北海道社会福祉協議会	〃	森田(修)
17日	福祉施設等における社会貢献を考える研修 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター	〃	野宮(将)
22日	大人の発達障がい勉強会 北広島市障がい者自立支援協議会	北広島市	道下(健)、阿部(優)、生島、 岩泉、中村(友)、中田(玲)、 山形
23日	メンタルヘルス講習会 北海道民間社会福祉事業職員共済会	札幌市	渡辺(卓)
24日 ～25日	新任介護職員研修 北海道社会福祉協議会	〃	太田(恭)
26日	虐待防止研修会 北海道社会福祉士会	〃	森(洋)
26日 ～27日	介護福祉士基本研修 北海道介護福祉士会	〃	工藤(竜)、渡辺(卓)
30日 ～31日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(中堅職員コース) 北海道社会福祉協議会	〃	中田(光)、水野
9月6日 ～7日	日本セルフセンターウエス部会研修会 日本セルフセンターウエス部会	新得町 帯広市	金野
6日 ～8日	就業支援基礎研修 高齢・障害・求職者雇用支援機構	札幌市	山形
7日	安全運転管理者・副安全運転管理者講習 北海道公安委員会	北広島市	今井(澄)、住谷、水口
13日 ～15日	相談支援従事者研修(基礎研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	札幌市	中川(里)
14日 ～15日	介護職員専門研修Ⅱ 北海道社会福祉協議会	〃	金沢
20日	個別支援計画事業者研修会(基礎研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	〃	生出、日登、横山(美)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
9月21日 ～22日	施設長及び職員研修会 北海道身体障害者授産施設連絡協議会	初山別村	道下(健)、奥田(雅)、 佐藤(貴)、小野(智)
25日	経理業務を徹底的に効率化するセミナー(財務資料分析編) ミロク情報サービス	札幌市	旭
27日	事業所と地域とのネットワークづくり研修 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター	〃	森(明)
28日	個別支援計画事業者研修会(基礎研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	〃	生出、日登、横山(美)
30日 ～10月1日	介護福祉士基本研修 北海道介護福祉士会	〃	工藤(竜)、渡辺(卓)
10月 2日	新退職年金制度業務説明会 北海道民間社会福祉事業職員共済会	札幌市	福田(一)、吉ヶ谷
3日	「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」地域未来づくり講演会 石狩管内地域未来づくり会議	北広島市	福田(一)
〃	「仕事の意識改革」講演会 札幌市	札幌市	鳥居、中井、五十嵐、生出、 木村、布村(将)、道下(真)
4日 ～5日	社会福祉法人人材マネジメント講座 全国社会福祉法人経営者協議会	東京都	吉ヶ谷
7日	ハウスキーパー研修会 北海道リハビリ(おおぞら・クリーニング事業部)	室蘭市	18名
7日 ～8日	介護福祉士実習指導者講習会 北海道介護福祉士会	札幌市	渡辺(卓)
12日 ～13日	施設相談員専門研修 北海道社会福祉協議会	〃	佐藤(貴)、生島、加藤(裕)
13日	全国社会就労センター協議会課題別専門研修会 全国社会福祉協議会	東京都	鳥居
〃	福祉施設のための苦情対応セミナー 損害保険ジャパン日本興亜	札幌市	小峯
14日	ハウスキーパー研修会 北海道リハビリ(おおぞら・クリーニング事業部)	施設内	大橋、高桑、竹内(芳)、田畑(康)、 富山、古川(砂)、本間(雪)、 三浦(順)、村木、森松
16日 ～17日	相談支援従事者研修(サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者向け研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	札幌市	齊藤(す)、渡辺(卓)
18日 ～20日	北海道サービス管理責任者研修(第4分野就労) きなはれ	〃	齊藤(す)、渡辺(卓)
21日 ～22日	介護福祉士実習指導者講習会 北海道介護福祉士会	〃	渡辺(卓)
23日	災害時避難訓練「振り返り研修会」 身体障がい者福祉事業連携協議会	〃	藤原(雅)、小田、鳥居

10月7日 伊賀、伊藤(和)、猪俣、岡田(牧)、奥崎、加藤(理)、兼子、菊池(里)、佐藤(久)、佐藤(美紀)、高井、高橋(泰)、
ハウスキーパー研修会 中野、播磨、舟木、堀崎、松坂、村本

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
10月23日	札幌市福祉施策勉強会 身体障がい者福祉事業連携協議会	札幌市	藤原(雅)、小田、鳥居
23日 ～24日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	〃	古崎
25日	成田工場施設研修会 日本病院寝具協会	千葉県	遠藤(久)、伊藤(学)
26日	高齢者雇用促進セミナー 高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	札幌市	吉ヶ谷
〃	事業所と地域とのネットワークづくり研修 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター	〃	中川(里)
26日 ～27日	北海道・東北ブロックセミナー 北海道社会福祉法人経営者協議会	〃	石崎
〃	身体障害者福祉施設職員研修会 北海道身体障害者福祉施設協議会	苫小牧市	福田(一)、道下(健)、新出、 遠藤(美)、佐藤(貴)、小田、 岡本(佳)、石川(理)
28日	身体的負担の軽減に係る生活支援技術研修会 北海道リハビリ(エイト)	施設内	25名
〃	北海道精神科リハビリテーションの未来 北海道精神科リハビリテーション研究会	札幌市	松岡(裕)
30日	個別支援計画事業者研修会(基礎研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	〃	工藤(竜)
31日	リネンサプライ業技能実習講習会(初級) 日本テキスタイルサプライ協議会	東京都	加藤(裕)
11月 1日 ～2日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(チームリーダーコース) 北海道社会福祉協議会	札幌市	杉田
7日	社会福祉法人経営労務管理セミナー 北海道保健福祉部福祉局施設運営指導課	〃	遠藤(久)、吉ヶ谷
〃	自立支援協議会清田区地域部会・清田区障がい福祉関係者ネットワーク会議共催研修会 清田区保健福祉部保健福祉課	〃	阿部(敏)、大山(毅)、小峯、 田川、野宮、本間(大)
9日	農福連携活動のステップアップセミナー 北海道	〃	藤原(雅)
10日 ～11日	アイナックス稲本ビジョン2017 アイナックス稲本	石川県	渡辺(芳)、小野(智)、新出
15日	危険物取扱者保安講習 北海道危険物安全協会連合会	千歳市	太田(宏)
〃	個別支援計画事業者研修会(基礎研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	札幌市	工藤(竜)
15日 ～16日	メンタルヘルス研修 北海道社会福祉協議会	〃	生出

10月28日 奥田(雅)、佐藤(貴)、生島、池野、伊藤(智)、上田、及川(勝)、大川、大山(道)、金沢、川端、小山、斉藤(千)、
身体的負担の軽減に係る生活支援技術研修会 佐々木(章)、佐々木(裕)、佐藤(麻)、佐藤(万)、鈴木(和)、富樫、仲野、前田、松本(恭)、室本、山形、吉本

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
11月17日	障がい者虐待防止研修会 北広島市保健福祉部福祉課	北広島市	服部、渡辺(芳)、小田嶋、 上、梶川、新谷、富樫、 廣瀬、堀、三國、吉野
18日 ～19日	介護福祉士実習指導者講習会 北海道介護福祉士会	札幌市	工藤(竜)
20日	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく集団指導 札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課	〃	藤原(雅)、伊藤(義)、小田、 鳥居
20日 ～21日	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	〃	小野(智)
22日	福祉施設等におけるボランティア受入担当者研修(基礎編) 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター	〃	田川
27日	障害者総合支援法並びに児童福祉法に基づく集団指導及び介護職員等処遇改善加算に係る説明会 北海道石狩振興局保健環境部社会福祉課	〃	福田(一)、道下(健)、市川、 吉ヶ谷、大黒、奥田、佐藤(貴)、 服部、渡辺(芳)、中田(光)、三國
〃	児童虐待防止講演会 北海道岩見沢児童相談所	岩見沢市	荒木、阿部(み)
28日	労務管理実務講習会 札幌労働基準協会	札幌市	吉ヶ谷
〃	児童虐待防止講演会 北広島市要保護児童対策地域協議会	北広島市	服部、近江
30日 ～12月1日	介護職員専門研修 I 北海道社会福祉協議会	札幌市	斉藤(千)
12月 2日 ～ 3日	介護福祉士実習指導者講習会 北海道介護福祉士会	〃	工藤(竜)
4日	リスクマネジメント研修 北海道社会福祉協議会	〃	及川(勝)、高松、日登
4日 ・8日	札幌市障害福祉サービス事業所管理者等研修(初級コース) キャリアバンク	〃	布村(将)
5日	防災教室 北海道リハビリ(エルフィンホーム)	施設内	荒木、服部、花岡、古崎、 堀、増田、山本(二)、 利用者16名
〃	自立支援協議会清田区地域部会心のチーム・清田区障がい者支援関係者研修会 清田区保健福祉部保健福祉課	札幌市	岡本、川本、中川(里)、 野宮(将)、三上(雅)
6日	法人役員・施設長専門研修(社会福祉施設) 北海道社会福祉協議会	〃	小田、菅原(宗)、道下(健)、 吉ヶ谷、鳥居、渡辺(芳)
6日 ～8日	北海道サービス管理責任者研修(第4分野就労) きなはれ	〃	渡辺(卓)
7日	M J S 新製品発表フェア ミロク情報サービス 札幌支社	〃	旭
〃	北海道ブロック研修会 全国自立援助ホーム協議会 北海道ブロック	〃	阿部(み)、近江

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
12月 8日	アンガーマネジメント研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	佐藤(貴)、中井、上、清水、堀川
9日 ～10日	発達・知的障がい者支援職員対象SSTファーストレベル研修会 地域生活支援ネットワークケアサポート	〃	宮崎
11日	サービス管理責任者等養成研修(ファシリテーター養成研修) 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	〃	佐藤(貴)、鳥居
12日	経理担当者専門研修 北海道社会福祉協議会	〃	竹山、伊藤(友)
18日	リスクマネジメントセミナー あいおいニッセイ同和損保	〃	藤原(雅)、古崎、松岡(裕)
1月11日	特別支援学校指導技術研修講座 北海道立特別支援教育センター	〃	大黒
16日	やさしくわかる総務・庶務の実務 札幌五法人会	〃	伊藤(麻)
〃	個別支援計画事業者研修会(応用研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	〃	横山(美)
19日 ・25日	札幌市障害福祉サービス事業所管理者等研修(初級コース) キャリアバンク	〃	伊藤(義)、鳥居、中井
24日	農福連携推進 北海道ブロックシンポジウム 農林水産省 北海道農政事務所	〃	石崎、吉ヶ谷
〃	障がい者雇用セミナー 全国重度障害者雇用事業所協会	〃	加々見、佐伯
30日	社会福祉法人労務管理セミナー 全国社会福祉法人経営者協議会	東京都	竹本
2月 7日	陽だまり講演会(児童自立支援施設で暮らす子供) 北海道リハビリ	施設内	石崎、荒木、服部、阿部(み)、石井(明)、井上、近江、高橋(優)、長谷川
8日	教育と福祉と医療連携セミナー 札幌市自立支援協議会子ども部会	札幌市	松岡(裕)
13日	障がい者就労事例セミナー 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	〃	田川
14日	身体障害者福祉施設研究セミナー 北海道身体障害者福祉施設協議会	〃	福田(一)、小田、菅原(宗)、道下(健)、佐藤(貴)、渡辺(芳)
14日 ～15日	リネンサプライ業技能実習講習会(中級) 日本テキスタイルサプライ協議会	東京都	知覧
15日	社会福祉法人経営実務セミナー 北海道社会福祉協議会	札幌市	石崎
16日	人事労務管理セミナー 産業雇用安定センター 北海道事務所	〃	竹本
19日	厚別区で垣根のない支援を考える～障がい者や高齢者の地域防災対策～ 厚別区地域部会	〃	工藤(竜)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
2月20日	計画相談支援HowTo研修 さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール	札幌市	中川(里)
〃	清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議・札幌市自立支援協議会清田区地域部会共催研修会 清田区保健福祉部保健福祉課	〃	岡本、小峯、貞廣、野宮(将)、 横山(美)
21日	整備管理者選任前研修 北海道運輸局 札幌運輸支局	〃	北川
22日	年金委員事務講習会 日本年金機構新さっぽろ年金事務所	〃	藤井(悠)
27日	管理栄養士・栄養士のためのセミナー 北海道文教大学	恵庭市	小田嶋
3月 1日	相談支援部会企画推進室研修会 札幌市自立支援協議会 相談支援部会	札幌市	大山(毅)
2日	社会福祉法人会計実務者決算・財務分析講座 北海道社会福祉協議会	〃	旭
5日	既存設備を活かす「札幌型省エネ」セミナー 札幌市・SapporoEnergyGateway	〃	北川、花岡
7日 ～8日	社会就労センター施設長・職員研修会/事業所経営セミナー 北海道社会就労センター協議会	〃	福田(一)、菅原(宗)、道下(健)、 佐藤(貴)、中田(光)
12日	食品安全セミナー バイオメディカルサイエンス研究会	〃	紙谷、小峯
16日	障害者雇用納付金制度事務説明会 高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部	〃	竹本
16日 ～19日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	野宮(将)
19日	北海道版「地域における公益的な取組」を考えるフォーラム 北海道社会福祉法人経営者協議会・北海道社会福祉法人経営青年会・北海道社会福祉協議会	札幌市	石崎、福田(一)
20日	地域福祉セミナー 北海道社会福祉事業団 さっぽろ地域生活支援センター	〃	大山(毅)
22日	農福連携スタディツアー 北海道地域の農福連携推進ネットワーク	江別市	石崎
27日	障がい福祉関係事業説明会 北広島市保健福祉部福祉課	北広島市	福田(一)、吉ヶ谷、菅原(宗)、 奥田、佐藤(貴)、服部、渡辺(芳)、 伊藤(大)、梶川、中田(光)、竹内(孝)
		合 計	延べ410名

開催日	研修等の名称	出席者	事業所
11月20日 12月13日・15日・17日 20日・27日・29日	虐待防止研修	奥田(雅)、佐藤(貴)、池野、伊藤(智)、上田、 及川(環)、大川、上、小山、斉藤(千)、 佐々木(章)、佐藤(麻)、佐藤(万)、杉田、 鈴木(和)、高松、富樫、仲野、浜崎、廣島、 室本、山形、吉本 23名	エイト
4月29日・5月27日 6月24日・7月15日 8月19日・9月23日 11月18日・12月16日 1月27日・2月24日 3月24日	施設内自主研修	阿部(敏)、在原、飯澤、石川(理)、梅原、 大山(毅)、岡本(佳)、亀貝、工藤(竜)、小峯、 貞廣、田川、中川(里)、野宮(将)、菱木、 藤田(淳)、本間(大)、松岡(裕)、三上(雅)、 宮崎、森(洋)、山越(真)、横山(美)、横山(真)、 渡辺(卓) 25名	美しい森
4月 1日・5月13日 6月10日・7月 8日 8月 5日・9月 2日 10月 4日・11月11日 12月 2日・1月13日 2月10日・3月10日	福祉職員研修会	小田、須田、鳥居、伊藤(史)、生出、金野、 斉藤(美)、斉藤(す)、鈴木(京)、中澤、日登、 布村(将)、堀川、道下(真)、森(智)、山田(奈) 16名	セルプ
4月26日 6月19日 10月12日・15日・30日 11月15日 3月30日	世話人研修会	泉、伊野、大原、近江、大西(美)、岡村、 神谷、菊地、工藤(恵)、工藤(幸)、工藤(美)、 鈴木(京)、高橋(雄)、田中、中谷、信田、 堀(美)、古崎、山本(二)、吉井、成田(洋) 21名	エルフィンホーム
7月 7日・12月 8日 3月 7日	指導員研修会	阿部(み)、石井(明)、井上(睦)、近江、高橋(優)、 長谷川(恵) 6名	陽だまり
合 計		182名	

6. 行事・事業等

開催日	行事・事業内容	
4月 7日	会計監査人出納監査(監査法人ライトハウス)	
8日	調理実習	美しの森
13日	補助事業事務手続説明会(JKA 補助事業部)	セルブ
15日	就労移行支援プログラム(SST)	美しの森
17日	評議員懇談会	
18日	グループホーム新設工事説明会(西の里中央町内会)	エルフィン
19日	グループホーム新設工事地鎮祭	エルフィン
20日	消防設備等立ち入り検査(北広島市消防署)	法人本部、エイト、エルフィン、陽だまり
22日	施設内レクリエーション(笑点)	美しの森
〃	施設外レクリエーション(札幌市民防災センター)	セルブ
〃	施設外レクリエーション(くるるの杜)	陽だまり
27日	税務調査(澁谷税理士)	
〃	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
29日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	美しの森
5月 3日	施設外レクリエーション(札幌ドーム:野球観戦)	おおぞら
4日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	美しの森
6日	施設外レクリエーション(花見会)	美しの森
9日	施設外レクリエーション(平岡梅林公園)	エイト
13日	調理実習	美しの森
14日	春の一斉清掃(西の里広栄町内会主催)	エルフィン
〃	春の一斉清掃(西の里中央町内会主催)	陽だまり
15日 ~16日	監事監査(田中監事・野村監事)	
16日	監事協議会(田中監事・野村監事)	
17日	施設外レクリエーション(平岡梅林公園)	エイト
19日	監事監査(田中監事)	
〃	クリーンデー(施設構内環境整備運動)	エイト・印刷事業部・法人本部
20日	就労移行支援プログラム(SST)	美しの森
25日	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
27日	施設外レクリエーション(スシロー 札幌清田店)	美しの森
〃	施設外レクリエーション(札幌市水道記念館)	セルブ
6月 4日	札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2017)	美しの森
10日	調理実習	美しの森
11日	施設外レクリエーション(札幌ドーム:野球観戦)	陽だまり

開催日	行事・事業内容	
6月15日	献血(北海道赤十字血液センター)	北広島全施設・法人本部
16日	福祉サービス第三者評価 事前説明会	エルフィン
17日	就労移行支援プログラム(SST)	美しの森
21日	西の里地域たすけあい会議	地域福祉推進室
24日	施設外レクリエーション(札幌市円山動物園)	セルプ
29日	就労移行支援プログラム(SST)	セルプ
30日	施設内レクリエーション(中田雅史ミニコンサート)	エイト
7月 1日	施設外レクリエーション(札幌ドーム:サッカー観戦)	美しの森
〃	施設内レクリエーション(焼肉会)	美しの森
2日	リクナビ2018適職・適社発見☆LIVE札幌合同企業説明会(リクルートキャリア)	法人本部、エイト、セルプ
〃	西の里広栄町内会「焼肉親睦会」(西の里さくら公園)	エルフィン
3日	施設外レクリエーション(いちご狩り)	エイト
〃	防犯設備設置工事完成検査(石狩振興局)	エルフィン
〃	グループホーム新設工事中間検査(石狩振興局)	エルフィン
4日 ~6日	会計監査人会計監査(監査法人ライトハウス)	
5日	施設外レクリエーション(いちご狩り)	エイト
〃	防犯設備設置工事完成検査(札幌市)	美しの森
6日	施設外レクリエーション(いちご狩り)	エイト
7日	平成28年度 合同打ち上げ	エイト・印刷事業部・法人本部
9日	西の里中央町内会「焼肉親睦会」(西の里東広場)	陽だまり
11日	施設内レクリエーション(北広島かおり幼稚園 讃美歌発表会)	エイト
13日	総合防災訓練(夜間)	エイト
15日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	美しの森
20日	札幌市 指導監査	美しの森
〃	特定給食施設等指導(札幌市)	美しの森
21日	施設外レクリエーション(木下大サーカス)	おおぞら
22日	就労移行支援プログラム(SST)	美しの森
〃	施設内レクリエーション(焼肉会)	セルプ・やまはな
23日	アンチエイジングと医療・介護のイベント参加(コムフェス2017)	美しの森
27日	就労移行支援プログラム(SST)	セルプ
28日	総合防災訓練(夜間)	エルフィン
29日	調理実習	美しの森
8月 2日 ~4日	石狩教育局初任段階教員研修 受入れ	おおぞら・クリーナース・エイト・美しの森・セルプ
3日	施設内レクリエーション(近隣施設共同花火大会)	エイト(自治会)

開催日	行事・事業内容	
8月 4日	2018新卒採用第1回法人説明会	法人本部
5日	西の里中央町内会「七夕祭り」	陽だまり
10日	防犯設備設置工事完成検査(石狩振興局)	エイト
12日	施設外レクリエーション(スシロー 札幌清田店)	美しの森
15日	施設内レクリエーション(花火大会)	エルフィン(自治会)
19日	調理実習	美しの森
〃	施設外レクリエーション(サッポロさとらんど)	セルブ
21日	福祉職場説明会への参加(北海道社会福祉協議会)	
24日	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
27日	第44回ボランティアカーニバル	
31日	総合防災訓練(地震・火災)	エイト
9月 6日	給食施設指導(北海道千歳保健所)	
〃	平成29年度就職イベント学内合同就職相談会への参加(北海道医療大学)	法人本部
7日	福祉サービス第三者評価 職員聴き取り調査	エルフィン
8日	グループホーム新設工事完成引渡(竹内建設)	エルフィン
9日	自治会旅行(伊達・登別方面)	セルブ
～10日		
10日	自治会旅行(北海道グリーンランド)	エルフィン
13日	2018新卒者第1回採用試験	法人本部
〃	総合防災訓練(火災)	セルブ
14日	北広島市西の里小学校「総合学習(車椅子体験実習)」	クリーナース・地域福祉推進室
〃	秋の交通安全運動街頭啓発活動	セルブ
〃	グループホーム新設工事完成検査(石狩振興局)	エルフィン
15日	監事監査(野村監事)	
16日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	美しの森
19日	消防設備等立入検査(北広島市消防署)	クリーナース、おおぞら
〃	施設外レクリエーション(コープさっぽろルミネ平岡店)	エイト
20日	総合防災訓練(火災)	やまはな
21日	施設外レクリエーション(ユニクロひばりが丘タウンプラザ店)	エイト
23日	施設外レクリエーション(ボーリング大会)	エイト(自治会)
〃	地域開放事業(大道芸)	美しの森
28日	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
28日	福祉サービス第三者評価 職員聴き取り調査	おおぞら
～29日		
29日	2018新卒採用第2回法人説明会	法人本部

開催日	行事・事業内容	
9月30日	就労移行支援プログラム(SST)	美しの森
10月 4日	北海道 実地指導監査	クリーナーズ・おおぞら
6日	自主避難訓練	陽だまり
7日	施設外レクリエーション(大滝きこ王国)	美しの森
10日	働きたい女性のための合同企業説明会(北広島市)	法人本部・クリーナーズ・エイト
13日	2018新卒者採用試験	法人本部
15日	札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会 災害時緊急避難訓練	美しの森、セルプ
16日 ~18日	定期健康診断	北広島施設
21日	調理実習	美しの森
〃	施設外レクリエーション(日本茶カフェ茶楽逢)	美しの森
〃	定期健康診断	美しの森
22日	秋の一斉清掃(西の里広栄町内会主催)	エルフィン自治会
〃	秋の一斉清掃(西の里中央町内会主催)	陽だまり
24日	定期健康診断	セルプ(やまはな)
25日	クリーンデー(施設構内環境整備運動)	エイト・印刷事業部・法人本部
26日	就労支援プログラム(SST)	セルプ
28日	施設外レクリエーション(白い恋人パーク)	セルプ
30日	総合防災訓練(火災)	陽だまり
11月 4日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	美しの森
6日 ~9日	会計監査(監査法人ライトハウス)	
7日	総合防災訓練(火災)	クリーナーズ、おおぞら、地域福祉推進室、クリーニング事業部
9日	監事監査(佐藤監事)	
〃	厨房立入検査(札幌市保健所)	美しの森
〃	西の里インターンシップ「意見交流会」(北広島西高校)	地域福祉推進室
10日	永年勤続顕彰並びに資格取得者等表彰祝賀会	
11日	施設外レクリエーション(日本茶カフェ茶楽逢)	美しの森
13日	福祉サービス第三者評価 意見交換会	おおぞら
14日 16日・21日	施設外レクリエーション(コカ・コーラボトリング 札幌工場)	美しの森
15日	北海道 運営指導監査	陽だまり
16日	総合防災訓練(火災)	エイト・印刷事業部・法人本部
18日	施設内レクリエーション(焼き芋会)	美しの森
〃	施設外レクリエーション(忘年会(アサヒビール園))	エルフィン自治会
21日	監事監査(野村監事)	

開催日	行事・事業内容	
11月22日	ホテルリネン作業棟竣工披露並びに内覧会	クリーナース
〃	利用者用洗濯乾燥機贈呈式(新札幌ロータリークラブ)	美しの森
25日	就労移行支援プログラム(SST)	美しの森
〃	施設内レクリエーション(ゲーム・カラオケ・調理実習)	セルブ
26日	施設外レクリエーション(札幌ドーム:野球観戦)	陽だまり
30日	就労支援プログラム(SST)	セルブ
12月 1日	献血功労表彰(北海道赤十字血液センター)	
7日	ノーマライゼーション「発表会」(北広島西高校)	地域福祉推進室
9日	施設内レクリエーション(カラオケ大会)	エイト自治会
13日	苦情相談委員会	
14日	税務調査(澁谷税理士)	
〃	施設内レクリエーション(北広島かおり幼稚園 キャロリング)	エイト
15日	2018新卒採用内定式並びに食事会	
16日	調理実習	美しの森
〃	施設内レクリエーション(クリスマス会)	セルブ
21日	就労支援プログラム(SST)	セルブ
〃	施設外レクリエーション(クリスマス会)	陽だまり
25日	施設内レクリエーション(クリスマス会)	美しの森
1月 4日	仕事初めの儀	
〃	成人の祝い	
6日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	美しの森
13日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	美しの森
〃	就労移行支援プログラム(SST)	美しの森
19日	施設内レクリエーション(新年会)	エイト自治会
24日	就労支援プログラム(SST)	セルブ
27日	調理実習	美しの森
〃	施設外レクリエーション(イオンモール札幌平岡)	美しの森
〃	施設内レクリエーション(餅つき会・カラオケ)	セルブ
2月 2日	除雪交流会	クリーナース・地域福祉推進室
3日	施設内レクリエーション(節分(豆まき))	陽だまり
6日 ~8日	会計監査(監査法人ライトハウス)	
8日	針供養	セルブ
24日	ともに地域の運動会(北広島団地地域サポートセンター ともに)	美しの森

開催日	行事・事業内容	
2月24日	調理実習	美しい森
〃	施設内レクリエーション(ゲーム・カラオケ・調理実習)	セルブ
28日	就労支援プログラム(SST)	セルブ
3月 3日	施設内レクリエーション(ひなまつり)	陽だまり
4日	施設外レクリエーション(ボウリング大会(厚別パークボウル))	エルフィン自治会
5日	北海道 書面指導監査(運営調書提出)	エイト
7日	マイナビ就職EXPO(マイナビ)	
7日 ～10日	定期健康診断・有機溶剤特殊健康診断	全施設
10日	施設外レクリエーション(キリンビール北海道千歳工場)	美しい森
〃	調理実習	美しい森
〃	地域開放事業(マジックショー)	美しい森
12日	総合防災対策委員会	
14日	総合防災訓練(火災)	セルブ
16日	総合防災訓練(火災)	セルブ(やまはな)
21日	総合防災訓練(火災)	クリーナース、おおぞら、地域福祉推進室、クリーニング事業部
22日	監事監査(野村監事)	
24日	施設内レクリエーション(カラオケ・フライングディスク・ゲーム)	セルブ
29日	就労支援プログラム(SST)	セルブ
31日	会計監査人期末棚卸立会	エイト、クリーニング事業部

7. 主な来所者（施設見学）

来所日	来 所 者	人 数
4月 5日	北海道白樺高等養護学校 3年生・保護者(セルフ)	2名
〃	北海道新篠津高等養護学校 保護者(エルフィン)	2名
6日	北海道白樺高等養護学校 3年生・保護者(セルフ)	2名
10日	北広島市 保健福祉部 職員(おおぞら・クリーナース・エイト)	1名
24日	札幌市生活就労支援センター ステップ 相談者・職員(やまはな)	2名
5月10日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生・保護者・教職員(やまはな)	3名
11日	北海道札幌市立豊明高等支援学校 保護者(セルフ)	3名
16日	学校法人北海学園 北海学園大学 横山ゼミ 3年生・教授(クリーナース・エイト)	25名
17日	社会福祉法人北海長正会 障がい者生活支援センターみらい 相談者・職員(エイト)	4名
19日	社会福祉法人北海長正会 障がい者生活支援センターみらい 相談者・職員(エイト)	7名
22日	社会福祉法人札幌報恩会 グループホームくるみ寮 職員(おおぞら)	8名
〃	一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会 保護者(セルフ)	30名
27日	北海道白樺高等養護学校 3年生・保護者(エイト)	2名
31日	北海道 保健福祉部 職員・北海道立向陽学院 職員(陽だまり)	4名
〃	札幌市生活就労支援センター ステップ 相談者・職員(やまはな)	2名
6月 6日	北海道高等聾学校 3年生・教職員(セルフ)	2名
12日	特定非営利活動法人レラピリカ 職員・北海道岩見沢児童相談所 職員(陽だまり)	4名
20日	北海道星置養護学校 教職員(美しの森)	1名
28日	北海道札幌視覚支援学校 高等部 1年生・教職員(やまはな)	7名
〃	札幌市立月寒中学校 特別支援学級 1～3年生・教職員(セルフ)	5名
29日	札幌市立あやめ野小学校 保護者(セルフ)	5名
7月 3日	社会福祉法人えぼっく 相談支援事業所あざれあ 職員・北広島市職員(クリーナース)	2名
4日	北海道南幌養護学校 保護者・教職員(おおぞら・エイト・エルフィン)	3名
7日	一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会 保護者・職員(おおぞら・エイト)	4名
11日	北海道小樽高等支援学校 2年生・教職員(おおぞら)	26名
〃	株式会社クリーン&クリーン 社員(エイト)	2名
〃	北海道札幌市立豊明高等支援学校 保護者(セルフ)	3名
12日	北海道札幌稲穂高等支援学校 保護者・教職員(エイト・エルフィン)	17名
13日	北海道札幌養護学校 保護者・教職員(エイト・エルフィン)	27名
18日	札幌市生活就労支援センター ステップ 相談者・職員(やまはな)	2名
19日	北海道札幌あいの里高等支援学校 保護者(セルフ)	1名

来所日	来 所 者	人 数
7月27日	社会福祉法人えぼっく きたひろしま暮らしサポートセンター ぼると 職員(クリーナーズ)	3名
28日	北海道南幌養護学校 教職員(おおぞら・クリーナーズ・エイト)	4名
〃	北海道新篠津高等養護学校 3年生・保護者(クリーナーズ)	2名
〃	北海道白樺高等養護学校 保護者・教職員(美しの森)	2名
〃	北海道札幌高等養護学校 1年生・保護者(セルフ)	2名
31日	社会福祉法人北海長正会 北広島市みなみ高齢者支援センター 職員(クリーナーズ)	1名
8月 1日	北海道星置養護学校 ほしみ高等学園 1年生・保護者(やまはな)	2名
2日	学校法人池上学園 池上学院グローバルアカデミー専門学校 1年生・保護者(セルフ)	2名
〃	学校法人東日本学園 北海道医療大学 看護福祉学部 1年生・教職員(クリーナーズ・エイト)	10名
3日	北海道白樺高等養護学校 2年生・保護者(セルフ)	2名
4日	北海道札幌養護学校 2年生・保護者(美しの森)	4名
〃	北海道札幌養護学校 教職員(セルフ)	12名
〃	北海道白樺高等養護学校 2年生・保護者・教職員(美しの森)	3名
7日	北海道リハビリー リハビリー・おおぞら 利用者・保護者(エルフィン)	4名
〃	北海道新篠津高等養護学校 1年生・保護者(セルフ)	2名
8日	北海道真駒内養護学校 中学部 3年生・保護者・教職員(美しの森)	3名
9日	学校法人池上学園 池上学院グローバルアカデミー専門学校 2年生・保護者(セルフ)	2名
10日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生・保護者(クリーナーズ)	2名
14日	北海道札幌市立豊明高等支援学校 1年生・保護者(セルフ)	2名
17日	北海道札幌市立豊明高等支援学校 教職員(セルフ)	10名
〃	北海道星置養護学校 ほしみ高等学園 1年生・保護者(セルフ)	2名
21日	一般社会人・保護者(クリーナーズ)	2名
24日	札幌ろうあ老人クラブ・手話通訳者(クリーナーズ)	42名
30日	札幌市立羊丘中学校 特別支援学級 1～3年生・保護者・教職員(おおぞら)	33名
9月 1日	北海道新篠津高等養護学校 教職員(クリーナーズ)	2名
〃	社会福祉法人更葉園 職員(エイト)	2名
5日	北海道新篠津高等養護学校 2年生・教職員(おおぞら・エイト)	17名
11日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 障がい者就労支援センター めーでる 相談者・職員(クリーナーズ)	2名
13日	北海道高等聾学校 1・2年生・教職員(おおぞら・エイト)	45名
14日	北海道札幌伏見支援学校 高等部 1年生・保護者・教職員(セルフ)	27名
〃	北海道白樺高等養護学校 1年生・教職員(おおぞら・セルフ)	25名
19日	社会福祉法人北海長正会 障がい者生活支援センター みらい 相談者・職員(クリーナーズ)	2名
〃	一般社会人・北広島市役所 職員	17名

来所日	来 所 者	人 数
9月19日 ～21日	社会福祉法人札幌協働福祉会ウレシパ・ポエムアクティビティーセンター 利用者・職員(美しの森)	26名
26日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生・教職員(おおぞら・エイト・エルフィン)	55名
10月 3日	北海道美深高等養護学校 あいべつ校 1年生・教職員(クリーナーズ・エイト)	24名
〃	北海道余市養護学校 しりべし学園分校 教職員(美しの森)	2名
4日	北海道石狩振興局保健環境部社会福祉課 職員(クリーナーズ)	2名
〃	北海道夕張高等養護学校 2年生・保護者・教職員(美しの森)	3名
5日	社会福祉法人あけぼの福祉会 職員(エルフィン・陽だまり)	1名
10日	一般社会人(クリーナーズ)	2名
12日	北広島市西の里あしたの会(クリーナーズ・エルフィン)	5名
19日	一般社会人・北広島市役所 職員・ヒューマンアカデミー(株)札幌校 職員(クリーナーズ・エイト)	6名
24日	北海道南幌養護学校 3年生・保護者(美しの森)	2名
11月 1日	札幌市立東栄中学校 教職員(エイト)	1名
〃	自衛隊札幌病院 准看護学院 2年生・教職員(クリーナーズ・エイト)	24名
6日	社会福祉法人天寿会 グループホームしおさい 職員(エルフィン)	6名
7日	北海道北広島西高等学校 1年生・教職員(おおぞら・エイト)	165名
8日	北海道北広島西高等学校 1年生・教職員(おおぞら・エイト)	162名
10日	北海道札幌市立札幌豊明高等支援学校 1年生・保護者(セルフ)	2名
11日	一般社会人(クリーナーズ)	1名
22日	北海道白樺高等養護学校 保護者・教職員(セルフ)	30名
28日	北広島市大曲民生委員(おおぞら・エイト)	12名
12月 6日	自衛隊札幌病院 准看護学院 1年生・教職員(クリーナーズ・エイト)	26名
7日	札幌市立あやめ野小学校 4年生・教職員(セルフ)	30名
11日	札幌市立東栄中学校 1～3年生・教職員(クリーナーズ・エイト)	32名
12日	北海道立特別支援教育センター 職員(クリーナーズ)	2名
26日	北海道新篠津高等養護学校 1年生・保護者(エイト)	2名
〃	北海道白樺高等養護学校 2年生・保護者(セルフ)	2名
1月 9日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 障がい者就労支援センター めーでる 相談者・職員(クリーナーズ)	2名
〃	北海道札幌市立札幌みなみの杜高等支援学校 1年生・保護者(セルフ)	2名
11日	北海道札幌伏見支援学校 高等部 2年生・保護者(美しの森)	2名
16日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 障がい者就労支援センター めーでる 相談者・職員(クリーナーズ)	2名
19日	北広島市統計協議会 会員・北広島市役所 職員(クリーナーズ)	15名
23日	北海道保健福祉部 職員(北広島施設)	3名

来所日	来 所 者	人 数
1月29日	北海道岩見沢高等養護学校 1年生・保護者(クリーナーズ・エイト)	2名
30日	NPO法人おおぞら グループホーム きたひろしまベース 入所者・職員(クリーナーズ)	2名
2月 6日	北海道岩見沢高等養護学校 2年生・保護者・教職員(エイト)	4名
14日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生(エルフィン)	2名
26日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生(エルフィン)	2名
3月 1日	社会福祉法人北海長正会 障がい者生活支援センターみらい 相談者・職員(エイト)	2名
5日	一般社会人(エイト)	2名
12日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生・学校法人三幸学園 札幌こども専門学校 1年生(エルフィン)	3名
13日	北海道紋別高等養護学校 教職員(おおぞら・エルフィン)	2名
15日	北海道新篠津高等養護学校 2年生・保護者(セルフ)	2名
17日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 障がい者就労支援センター めーでる 相談者・保護者(クリーナーズ)	3名
29日	北海道余市養護学校 しりべし学園分校 教職員(エイト)	1名
合 計		1178名

8. 職場実習（受入れ）

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
4月 1日・15日 29日	北海道新篠津高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
4日～ 6日	北海道小樽高等支援学校 3年生	セルプ	1名
24日～25日	一般社会人	おおぞら	1名
5月 3日～ 4日	北海道新篠津高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
8日～12日	一般社会人	おおぞら	1名
24日	北海道真駒内養護学校 3年生	美しの森	1名
24日～6月1日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生	セルプ(やまはな)	1名
6月 6日～ 9日	北海道リハビリー 美しの森 利用者	エイト	1名
12日～23日	北海道高等聾学校 3年生	エイト	1名
〃	北海道高等聾学校 3年生	セルプ(やまはな)	1名
〃	北海道千歳高等支援学校 2年生	美しの森	1名
19日～30日	北海道小樽高等支援学校 3年生	おおぞら	1名
21日～23日	北海道白樺高等養護学校 3年生	セルプ	1名
21日	学校法人北海道星槎学園 星槎道都大学 社会福祉学部 3年生	セルプ	3名
26日	札幌市立東月寒中学校 特別支援学級 3年生	セルプ	2名
〃	北海道札幌市立豊明高等支援学校 2年生	セルプ	1名
7月 3日	札幌市立月寒中学校 特別支援学級 3年生	セルプ	2名
3日～ 7日	札幌市立真栄中学校 特別支援学級 3年生	美しの森	2名
〃	学校法人北海道科学大学 北海道薬科大学 薬学部 2年生	セルプ	2名
10日	札幌市立北野中学校 特別支援学級 3年生	セルプ	2名
10日～14日	学校法人北海道科学大学 北海道薬科大学 薬学部 2年生	セルプ	2名
18日	札幌市立八条中学校 特別支援学級 3年生	セルプ	1名
19日	学校法人北海道星槎学園 星槎道都大学 社会福祉学部 3年生	セルプ	3名
26日～27日	北海道北広島西高等学校 2年生	エイト	1名
26日～27日 8月1日～ 4日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生	おおぞら	1名
8月 2日～ 4日	北海道札幌市立豊明高等支援学校 2年生	セルプ	1名
7日～10日	北海道小樽高等支援学校 3年生	セルプ	1名
8日	北海道白樺高等養護学校 1年生	セルプ	1名
8日～10日	北海道白樺高等養護学校 3年生	美しの森	1名
18日	北海道札幌市立豊明高等支援学校 2年生	セルプ	1名

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
8月 22日～25日	一般社会人	クリーナーズ	1名
25日	北広島市立西の里中学校 2年生	おおぞら・エイト	4名
28日～9月1日	北海道札幌視覚支援学校 1年生	セルプ(やまはな)	1名
28日～9月8日	北海道札幌稲穂高等支援学校 3年生	セルプ	1名
28日～9月15日	北海道新篠津高等養護学校 3年生	おおぞら・クリーナーズ	1名
9月 4日～ 6日	北海道リハビリ 陽だまり 利用者	クリーナーズ	1名
4日～15日	北海道札幌視覚支援学校 3年生	エイト	1名
11日	北広島市立大曲中学校 特別支援学級 1・3年生	おおぞら・エイト	7名
11日～15日	学校法人鶴岡学園 北海道文教大学 2年生	エイト	3名
11日～22日	学校法人池上学園 池上学園グローバルアカデミー専門学校 2年生	セルプ	1名
11日～10月6日	北海道札幌市立豊明高等支援学校 3年生	セルプ(やまはな)	1名
19日～29日	北海道小樽高等支援学校 3年生	おおぞら	1名
19日～10月6日	北海道新篠津高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
〃	北海道雨竜高等養護学校 2年生	セルプ	1名
25日	北広島市立西の里小学校 2年生	エイト	12名
25日～30日	一般社会人	クリーナーズ	1名
27日～29日	一般社会人	クリーナーズ	1名
10月 2日～ 6日	北海道雨竜高等養護学校 3年生	セルプ	1名
2日～20日	北海道白樺高等養護学校 3年生	美しの森	1名
3日～ 4日	北海道札幌視覚支援学校 中学部 2年生	セルプ(やまはな)	1名
4日～12日	札幌市立東月寒中学校 特別支援学級 3年生	セルプ	2名
14日・20日	北海道札幌市立豊明高等支援学校 3年生	セルプ(やまはな)	1名
16日～20日	北海道高等聾学校 1年生	おおぞら	1名
〃	北海道高等聾学校 1年生	美しの森	1名
〃	学校法人池上学園 池上学園グローバルアカデミー専門学校 2年生	セルプ	1名
16日～27日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生	おおぞら	1名
23日～27日	一般社会人	エイト	1名
〃	学校法人池上学園 池上学園グローバルアカデミー専門学校 2年生	セルプ	1名
26日～27日	北海道リハビリ エルフィン 利用者	おおぞら	1名
11月 1日～30日	北海道リハビリ おおぞら 利用者	エルフィン	1名
13日～16日	一般社会人	おおぞら	1名
14日～15日	北海道真駒内養護学校 3年生	美しの森	1名
16日	札幌市立羊丘中学校 3年生	セルプ	3名

実習日		実 習 者	実習施設	人 数
11月	21日	札幌市立東月寒中学校 3年生	セルプ	3名
	24日	札幌市立平岡中央中学校 1年生	美しの森	2名
	〃	札幌市立清田中学校 特別支援学級 2年生	美しの森	3名
12月	4日～ 8日	学校法人北海道星槎学園 道都大学 4年生	クリーナース	1名
	11日～15日	学校法人北海道星槎学園 道都大学 4年生	クリーナース	1名
	14日	北海道南幌養護学校 3年生	美しの森	1名
	21日～1月12日	北海道新篠津高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
	25日～28日	北海道リハビリー おおぞら 利用者	エルフィン	1名
	27日	北海道岩見沢高等養護学校 2年生	美しの森	1名
1月	9日～10日	北海道真駒内養護学校 3年生	美しの森	7名
	9日～16日	北海道白樺高等養護学校 3年生	美しの森	1名
	15日～19日	一般社会人	クリーナース	1名
	16日	北海道白樺高等養護学校 1年生	セルプ	1名
	17日～19日	北海道南幌養護学校 3年生	美しの森	1名
	29日～30日	北海道白樺高等養護学校 2年生	セルプ	2名
	31日～2月9日	北海道小樽高等支援学校 3年生	おおぞら	1名
2月	12日～16日	一般社会人	クリーナース	1名
	13日～3月24日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生	美しの森	7名
	19日	北海道南幌養護学校 3年生	美しの森	1名
3月	12日～23日	学校法人三幸学園 札幌こども専門学校 保育課 1年生	美しの森	2名
	13日	北海道真駒内養護学校 2年生	美しの森	1名
	22日～29日	一般社会人	おおぞら	1名
	26日～27日	一般社会人	美しの森	1名
	27日～28日	北海道白樺高等養護学校 2年生	おおぞら	2名
	27日～29日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生	おおぞら	1名
	27日～31日	一般社会人	クリーナース	1名
	28日	北海道札幌市立札幌みなみの杜高等支援学校 1年生	セルプ	4名
			合 計	147名

9. 施設設備整備実施報告

9-1 実施状況総括表

(1) リハビリリー・クリーナース

金額単位：千円(税込)

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
4	216,368	4	203,732	94.2			4	203,732

(2) リハビリリー・おおぞら

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	5,400	1	4,428	82.0			1	4,428

(3) リハビリリー・エイト

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	31,509	3	20,745	65.8	1	2,527	4	23,272

(4) 美しい森

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	3,460	1	3,456	99.9			1	3,456

(5) セルプさっぽろ

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
4	19,644	3	11,596	59.0			3	11,596

(6) エルフィンホーム

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	78,939	1	64,584	81.8			1	64,584

(7) 陽だまり

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(8) ポプルス

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(9) その他(法人本部)

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	6,800	1	6,338	93.2			1	6,338

(10) 総 計

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
15	362,120	14	314,879	86.9	1	2,527	15	317,406

<内補助金>

5	32,592	5	32,592	100.0			5	32,592
---	--------	---	--------	-------	--	--	---	--------

※ 随意契約によることができる基準額(工事:250万円、物品:160万円)を超える実施事業

9-2 事業所別実施状況

(1) リハビリター・クリーナーズ

< 改造・改修 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
リハビリター・クリーナーズ老朽改築に係る機械及び設備等の移設設置工事	105,332	105,332		4月
リハビリター・クリーナーズの老朽改築に係る外構工事	23,843	23,843		5月
リハビリター・クリーナーズの老朽改築に係る第2期解体工事	23,797	23,797		7月
リハビリター・クリーナーズの老朽改築に係る第2期外構工事	※63,396	50,760		10月
改造・改修 合計	216,368	203,732		94.2% (実施率)

※工事費は、追加工事発生により概算費用8,640千円(税込)の予算増額とした。

< 合計 >

単位：千円(税込)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリター・クリーナーズ) 合計	216,368	203,732	0	94.2%

(2) リハビリター・おおぞら

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
全自動水洗脱水機の更新	5,400	4,428		9月
更新事業 合計	5,400	4,428		82.0% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税込)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリター・おおぞら) 合計	5,400	4,428	0	82.0%

(3) リハビリー・エイト

< 改造・改修 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
防犯カメラ・人感知ライト・非常通報装置の導入 ※	7,425	4,914		7月
改造・改修 合計	7,425	4,914		66.2% (実施率)

※平成28年度社会福祉施設等施設整備国庫補助金を活用

< 新規 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
カラーオンデマンド機の新規購入	15,444	9,869		11月
機械浴槽の新規購入 ※	8,640	5,962		9月
新規事業 合計	24,084	15,831		65.7% (実施率)

※北海道労働局職場定着支援助成金を活用

< 合計 >

単位：千円(税込)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリー・エイト) 合計	31,509	20,745	0	65.8%

< 計画外 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
小型ミシン加工機の新規購入事業	—	2,527		2月
計画外事業 合計	—	2,527		—

(4) 美しの森

< 改造・改修 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
防犯カメラ・機械警備システムの導入 ※	3,460	3,456		6月
改造・改修 合計	3,460	3,456		99.9% (実施率)

※平成28年度社会福祉施設等施設整備国庫補助金を活用

< 合計 >

単位：千円(税込)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(美しの森) 合計	3,460	3,456	0	99.9%

(5) セルプさっぽろ

< 改造・改修 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
建物屋根の防水改修工事	10,584	6,804		11月
セルプさっぽろの増築に係る工事設計及び監理業務委託※	3,400		3,400	
改造・改修 合計	13,984	6,804	3,400	48.7% (実施率)

※計画変更により、平成29年度実施を見送った。

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
ワイシャツシングルスリーブ機の更新	2,160	1,642		9月
更新事業 合計	2,160	1,642		76.0% (実施率)

< 新規 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
送迎用車両の新規購入 ※	3,500	3,150		9月
新規事業 合計	3,500	3,150		90.0% (実施率)

※財団法人JK Aの平成29年度補助金を活用

< 合計 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(セルプさっぽろ) 合計	19,644	11,596	3,400	59.0%

(6) エルフィンホーム

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
グループホームの新設工事	78,939	64,584		9月
更新事業 合計	78,939	64,584		81.8% (実施率)

※平成28年度社会福祉施設等施設整備国庫補助金を活用

< 合計 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(エルフィンホーム) 合計	78,939	64,584	0	81.8%

(9) その他(法人本部)

< 更 新 >

単位：千円(税込)

事 業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
送迎用マイクロバスの更新	※6,800	6,338		2月
更新事業 合計	6,800	6,338		93.2% (実施率)

※事業費は、安全装置等を装備するため、1,900千円(税込)の予算増額とした。

< 合 計 >

単位：千円(税込)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(その他) 合計	6,800	6,338	0	93.2%

10. 福祉サービス第三者評価の受審結果

平成28年度に受審した「福祉サービス第三者評価」の評価結果について、次のとおり報告する。

1. 受審施設

障害者支援施設リハビリ・エイト

実施事業	・施設入所支援事業	定員40名
	・短期入所事業	空床利用型
	・生活介護事業	定員40名
	・就労移行支援事業	定員6名
	・就労継続支援B型事業	定員34名

2. 評価機関

サード・アイ合同会社 代表 鈴木正子

札幌市西区発寒5条2丁目3番8-201

北海道福祉サービス第三者評価事業推進機構 認証番号 14-001

3. 評価実施期間

平成28年6月2日～平成29年1月16日

4. 評価結果報告日（評価機関が北海道福祉サービス第三者評価事業推進機構へ評価結果を報告した日）

平成29年3月21日

5. 受審証明書交付日（評価確定日）

平成29年6月19日

6. 評価結果（項目別の評価結果は次頁に記載）

(1) 共通基準45項目－評価結果集計

評価基準		評価結果
a	より良い福祉サービスの水準・状態／質の向上を目指す際に目安とする状態	35項目
b	a評価に至らない状態、多くの施設の状態、a評価に向けた取り組み余地がある状態	10項目
c	b評価以上の取り組みとなることを期待する状態	0項目

(2) 付加基準26項目－評価結果集計

評価基準		評価結果
a	より良い福祉サービスの水準・状態／質の向上を目指す際に目安とする状態	26項目
b	a評価に至らない状態、多くの施設の状態、a評価に向けた取り組み余地がある状態	0項目
c	b評価以上の取り組みとなることを期待する状態	0項目

7. 評価結果の公表状況

- ・WEB 社会福祉法人北海道リハビリ ホームページ
- ・WEB 北海道福祉サービス第三者評価事業推進機構
- ・WEB 独立行政法人福祉医療機構「WAMNET（ワムネット）」

障がい者施設－共通基準45項目の評価結果

■評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		評価
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評価
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評価
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b

■評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		評価
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明理解を図っている。	a
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		評価
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評価
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評価
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価
26	II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a

■評価対象III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		評価
28	III-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
29	III-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		評価
30	III-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
31	III-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a
32	III-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
III-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		評価
33	III-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評価
34	III-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
35	III-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
36	III-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評価
37	III-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
38	III-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
39	III-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	b

III-2 福祉サービスの質の確保

III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価
40	III-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
41	III-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		評価
42	III-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a
43	III-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		評価
44	III-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
45	III-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a

障がい者施設－付加基準 26 項目（入所施設用）

■評価対象 障がい者・児施設 付加基準

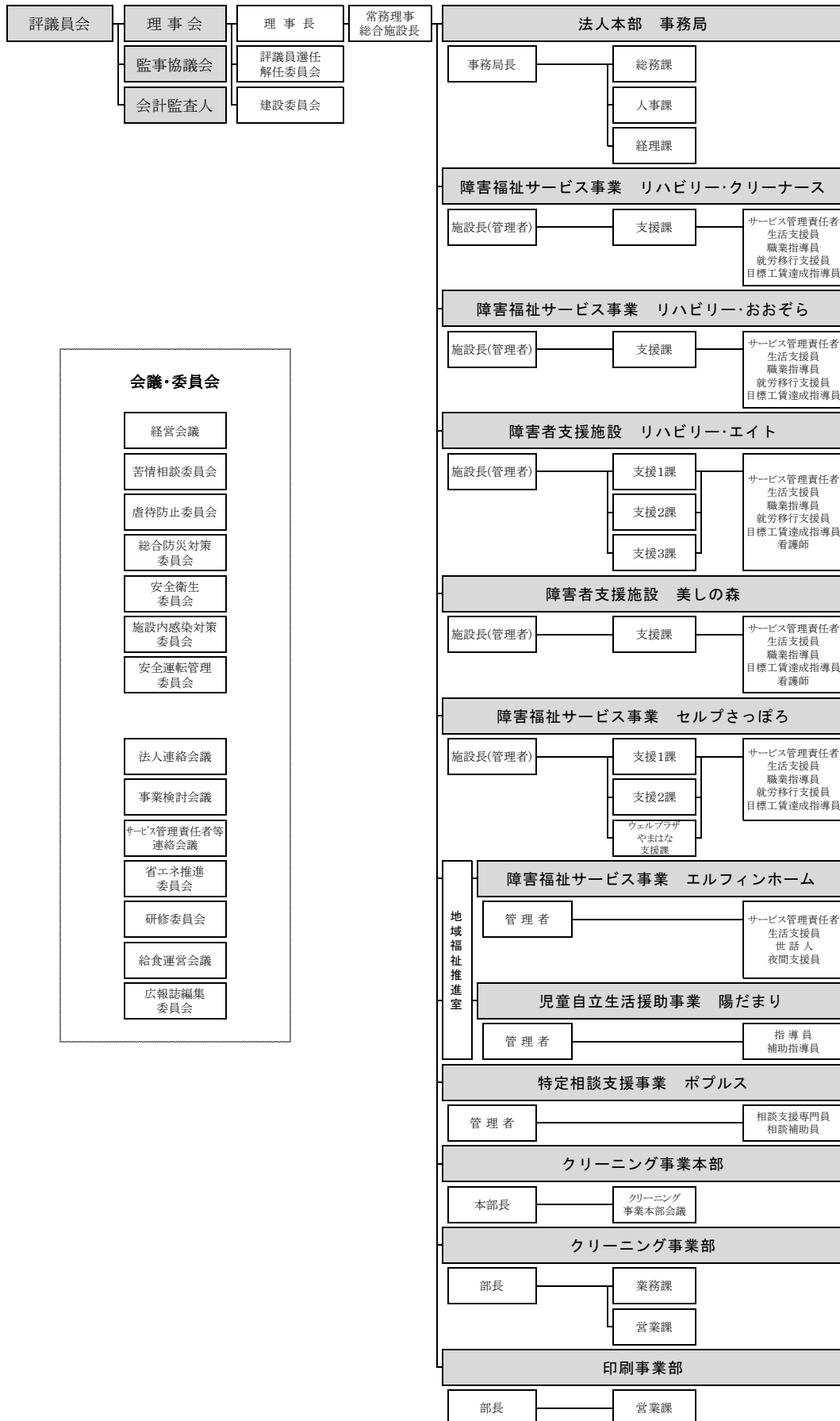
A-1 利用者の尊重

1-(1) 利用者の尊重		評価
1	A-1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a
2	A-1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	a
3	A-1-(1)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	a
4	A-1-(1)-④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a

A-2 日常生活支援

2-(1) 食事		評価
5	A-2-(1)-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	a
6	A-2-(1)-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	a
7	A-2-(1)-③ 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	a
2-(2) 入浴		評価
8	A-2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	a
9	A-2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	a
10	A-2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	a
2-(3) 排泄		評価
11	A-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。	a
12	A-2-(3)-② トイレは清潔で快適である。	a
2-(4) 服装		評価
13	A-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、服装の選択について支援している。	a
14	A-2-(4)-② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	a
2-(5) 理容・美容		評価
15	A-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	a
16	A-2-(5)-② 理・美容について配慮している。	a
2-(6) 睡眠		評価
17	A-2-(6)-① 安眠できるよう適切な配慮ができています。	a
2-(7) 健康管理		評価
18	A-2-(7)-① 日常の健康管理は適切である。	a
19	A-2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	a
20	A-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	a
2-(8) 余暇・レクリエーション		評価
21	A-2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、サービス実施計画に基づいて行われている。	a
2-(9) 外出、外泊		評価
22	A-2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われている。	a
23	A-2-(9)-② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	a
2-(10) 所持金・預かり金の管理等		評価
24	A-2-(10)-① 預かり金について、利用者ごとに適切な管理体制が作られている。	a
25	A-2-(10)-② 新聞・雑誌の講読やテレビ・ラジオ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	a
26	A-2-(10)-③ 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。	a

11. 組織図



12. 利用者等状況報告

12-1 利用者・従業員数

(平成30年3月31日)

	利 用 者								従 業 員(内福祉事業職員)					合 計	
	生活介 護	就 労 移 行	就 労 継 続 A 型	就 労 継 続 B 型	施 設 入 所	共 同 生 活 援 助	児 童 自 立 生 活 援 助	小 計	(前 年 比)	正 職 員	嘱 託 職 員	契 約 職 員	小 計		(前 年 末 比)
(1) リハビリ・ クリーナース		0	19	35				54	12	19 (9)	1 (0)	23 (6)	43 (15)	3 (4)	97
(2) リハビリ・ おおぞら		4	31	58				93	-17	36 (13)		16 (6)	52 (19)	-7 (-3)	145
(3) リハビリ・ エイト	44	3		32	39			118	0	55 (26)		8 (2)	63 (28)	-2 (0)	181
(4) 美しの森	65			14	30			109	-3	14 (14)	1 (1)	10 (10)	25 (25)	-1 (-1)	134
(5) セルプ さっぽろ		6	6 (6)	93 (9)				105 (15)	0	12 (12)	2 (2)	8 (7)	22 (21)	-1 (-1)	127
(6) エルフィン ホーム						34		34	7	2 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	2 (2)	38
(7) 陽だまり							2	2	0		1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	4
(8) ポプルス										1 (1)			1 (1)	1 (1)	1
(9) 法人本部										4 (4)			4 (4)	0 (0)	4
総 計	109	13	56	232	69	34	2	515	-1	143 (81)	6 (5)	67 (33)	216 (119)	-5 (2)	731
(前年比)	-3	-3	0	-1	-1	7	0	-1		0 (0)	1 (1)	-6 (1)	-5 (2)		-6

- 備考 1 利用者数は、サービス利用契約に基づく、サービス別の提供者数で計算している。
 2 セルフ利用者の()は、内ウェルプラザやまはな利用者の人数である。
 3 施設入所、共同生活援助、児童自立生活援助は、夜間等の支援のため、日中活動及び従業員数の人数に重複している。
 4 パート職員は、160名(クリーナースのクリーニング取次店要員及びおおぞらのハウスキーパー等を含む。)